

ならしの消防

消防年報

(平成29年版)



「若草山焼き」

奈良市消防局

(平成30年刊行)

はじめに



消防局長 藤村 正弘

奈良市消防局は、消防行政の実態を紹介するために昭和56年より毎年消防年報を刊行しております。

創刊以来、日々社会経済情勢は変化しており、本市の消防行政もそれに対応すべくソフト、ハード両面にわたって刷新しつづけています。

この年報では、新しく変わりつつある奈良市消防の現在のすがたをわかり易く紹介するため業務内容、火災・救急統計等を系統別に収録し分析しています。

なお、この年報において、何年中とあるのは暦年間（1月1日から12月31日）、何年度とあるのは会計年度（4月1日から3月31日）をいい、予算関係は会計年度、それ以外のものについては、平成30年4月1日現在の現況及び暦年を原則として取りまとめました。

今後における消防行政推進の資料として活用いただければ幸いです。

奈良市消防局

目 次

消防情勢	1
1 奈良市の概要	2
2 奈良消防の沿革	3
3 消防機関配置図	8
(1) 局、署所配置図	8
(2) 消防施設	9
総務関係	11
4 奈良市消防局の組織	12
5 事務分掌	13
6 消防予算	17
(1) 一般会計予算額と消防費との比較	17
(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移	17
(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較(当初予算)	18
(4) 消防費に対する人口・世帯当たり額	18
(5) 消防費性質別予算額	18
7 職員の階級別配置状況	19
8 職員の階級別勤続年数調べ	20
9 職員の階級別年令調べ	21
10 職員の研修状況	22
11 奈良市消防音楽隊概要	23
(1) 音楽隊員の配置状況	23
(2) 音楽隊の編成状況	23
(3) 音楽隊の活動状況	25
防災センター関係	26
12 奈良市防災センター	27
(1) 防災センター	27
(2) 概要	27
(3) 入館状況	28
(4) 施設利用状況	28
警防関係	29
13 消防車両等の配備状況	30
14 消防水利状況	31
(1) 消火栓	31
(2) 防火水槽	31
(3) その他の水利	31

通信関係 32

15	通信施設	33
(1)	基地局	33
(2)	無線電話の現状	34
(3)	有線電話	35
(4)	119番着信件数	36
(5)	119番通報種別割合	37
(6)	テレホンガイド利用数	37
(7)	月別気象状況(消防局)	38
(8)	月別気象状況(東消防署)	39

救急関係 40

16	救急概要	41
17	救急資器材	42
18	救急概況(前年との比較)	43
19	署別救急状況	44
20	署別救急件数	45
21	月別救急状況	46
22	時間別救急状況	47
23	傷病程度別搬送人員	48
24	救急隊員の行った応急処置回数	49
25	救急救命士による特定行為実施状況	50
26	診療科目別搬送人員	50
27	過去5ヵ年の事故別救急状況	51

救助関係 52

28	救助概要	53
29	高度救助用資機材	54
30	救助資機材	55
31	救助概況(前年との比較)	56
32	署別救助出動状況	57
33	月別救助出動状況	58
34	発生場所別救助出動状況	59

予防関係 60

35	防火対象物一覧	61
36	用途別中高層建築物状況	63
37	消防同意処理状況	65
38	過去5ヵ年の建築同意処理件数状況	65
39	消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況	66
40	類別、数量別危険物施設数	68
41	危険物施設数及び各種許認可処理状況	69

42	奈良市所在の指定文化財	70
43	火災予防広報等活動状況	71
44	女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状	72
	(1) 女性防災クラブ	72
	(2) 幼年消防クラブ	73

火 災 統 計

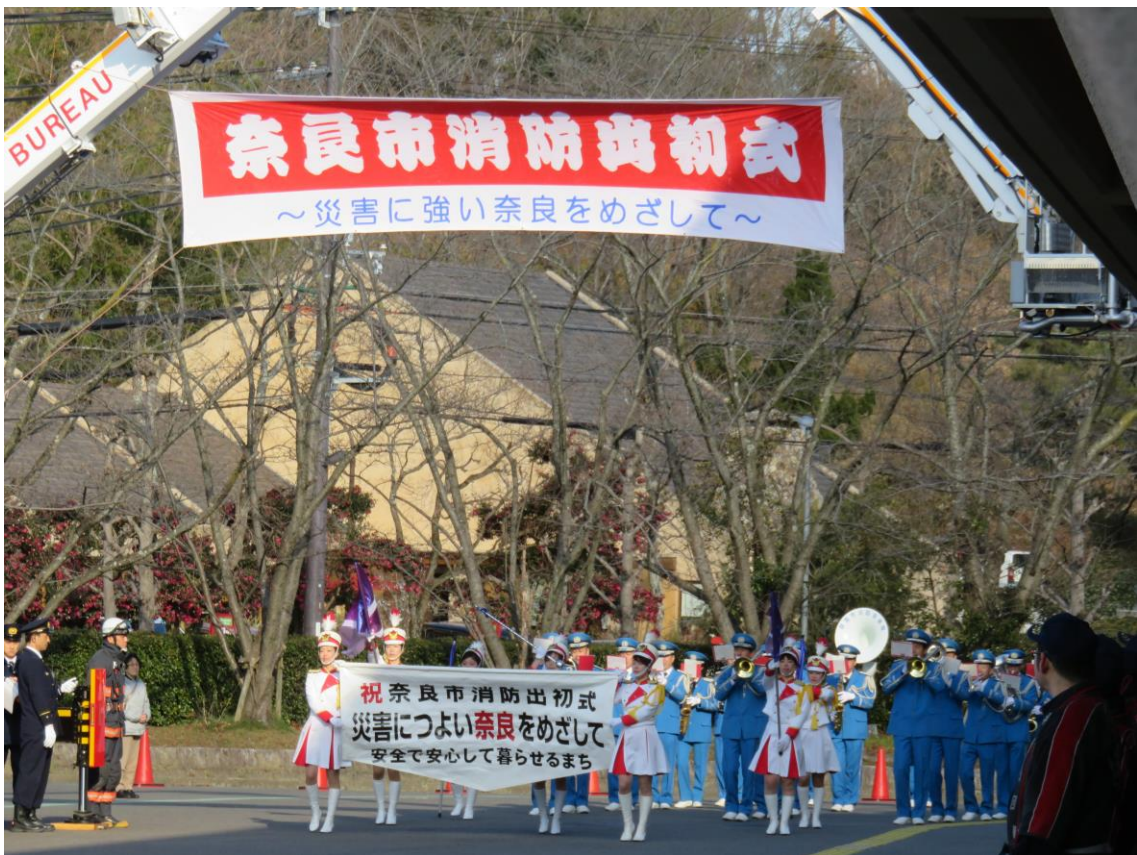
74

45	火災概要	74
46	火災概況(前年との比較)	75
47	署別火災概況	76
48	過去5ヵ年の火災状況	77
49	校區別火災状況	78
50	気象別火災状況	79
	(1) 風速別	79
	(2) 湿度別	79
51	覚知方法別火災状況	79
52	曜日別火災状況	79
53	覚知時間別火災状況	80
54	月別火災状況	81
55	用途別・原因別火災状況	82

消防団関係 83

56	奈良市消防団の組織	84
57	消防団員の階級別定員数	86
58	消防団員の新任状況	87
59	消防団員の退職状況	87
60	在職年数別消防団員数	88
61	消防団員の職業状況	88
62	消防団員の表彰状況	89
63	消防団員の出勤状況	89
64	消防団機械器具等配備状況	90
65	消防団員の報酬、費用弁償	91

消 防 情 勢



「平成30年1月13日奈良市消防出初式」

1 奈良市の概要

奈良市は、大和青垣国定公園、奈良公園、矢田自然公園など美しい自然のなかに位置し、特に特別天然記念物に指定されている春日山原始林をはじめとする緑の環境に恵まれています。

明治31年2月市制施行当初、市域面積23.44K㎡、人口3万人足らずでしたが、大正12年4月添上郡佐保村の編入をはじめとし、6回にわたり町村が編入されました。また、平成の合併では平成17年4月1日に月ヶ瀬村と都祁村が編入し新しい奈良市がスタートしました。

現在、市域面積は276.94K㎡に拡大され、人口も36万人近くになります。

その間、昭和25年には国際文化観光都市を宣言し、昭和41年には正倉院周辺春日奥山に古都保存法が適用され、歴史都市として個性ある街づくりをしています。

千三百年近くを生きる木造建築物など、奈良のまちには、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの歴史的遺産があります。これらは、先人たちが学術・芸術・技術の粋を集めて創り上げ、平城京で花開いた人類共有の貴重な宝です。

こうした美しく豊かな自然と、今日まで先人たちが守り伝えてくれた文化財の防火をはじめ、多様化した市民のニーズに十分応えうる都市基盤や社会資本の充実、そして災害に強いまちづくりの建設、またそれにふさわしい行政の施策展開のための体制づくりが急務となっており、いにしえに学んだ知恵を活かしながら、国際都市として、また近畿圏における中枢都市としてさらなる発展を続けています。

人口・世帯数の推移

年 別 (年)	面積 (K㎡)	世帯数	1世帯当 たり平均 世帯人員	人 口			人口密度 (K㎡当たり)	摘 要
				男	女	計		
大正9	23.44	8,737	4.61	20,270	20,031	40,301	1,719	国勢調査10月1日
14	29.92	10,369	4.71	25,033	23,846	48,879	1,634	"
昭和5	29.92	11,336	4.66	26,195	26,589	52,784	1,764	"
10	29.92	11,840	4.73	27,594	28,374	55,968	1,871	"
15	29.80	12,332	4.64	27,477	29,796	57,273	1,922	"
20	39.52	16,430	4.25	31,417	38,398	69,815	1,767	人口調査11月1日
22	39.52	17,708	4.65	42,512	39,887	82,399	2,085	臨時国勢調査10月1日
25	39.52	17,487	4.45	38,097	39,769	77,866	1,970	国勢調査10月1日
30	121.22	25,552	4.53	55,322	60,352	115,674	954	"
35	210.33	31,026	4.34	65,548	69,029	134,577	640	"
40	211.91	40,738	3.94	77,865	82,776	160,641	758	"
45	211.91	57,111	3.65	100,561	107,705	208,266	983	"
50	211.91	73,651	3.50	124,773	132,765	257,538	1,215	"
55	211.91	90,821	3.28	144,250	153,703	297,953	1,406	"
60	211.91	100,798	3.25	157,989	169,713	327,702	1,546	"
平成2	211.61	112,990	3.09	167,310	182,039	349,349	1,651	"
7	211.60	123,718	2.90	171,926	187,292	359,218	1,698	"
12	211.60	133,774	2.74	173,652	192,533	366,185	1,731	"
16	211.60	143,052	2.56	174,539	191,756	366,295	1,731	4月1日 現 在
17	276.84	140,462	2.63	174,469	195,633	370,102	1,336	"
18	276.84	147,888	2.51	176,769	195,141	371,910	1,343	"
19	276.84	149,230	2.49	176,021	194,831	370,852	1,340	"
20	276.84	150,626	2.45	175,194	194,514	369,708	1,335	"
21	276.84	151,965	2.43	174,334	194,258	368,592	1,331	"
22	276.84	153,361	2.40	173,981	194,116	368,097	1,330	"
23	276.84	154,902	2.37	173,632	194,085	367,717	1,328	"
24	276.84	155,968	2.35	172,881	193,548	366,429	1,324	"
25	276.84	156,045	2.34	172,026	192,810	364,836	1,318	"
26	276.84	157,276	2.32	171,773	192,553	364,326	1,316	"
27	276.94	158,268	2.29	170,927	192,124	363,051	1,311	"
28	276.94	159,297	2.27	170,012	191,411	361,423	1,305	"
29	276.94	160,242	2.25	169,045	190,621	359,666	1,299	"
30	276.94	161,392	2.23	168,225	189,930	358,155	1,293	"

注) 平成26年10月1日 国土地理院より市域面積の新数値が公表される。

2 奈良消防の沿革（平成元年以降、明治～昭和については奈良市消防沿革史にて保管）

平成	元年	4月	第六代消防長に森井堯運氏就任 警防課に特別消防救助隊を設置
		8月	法蓮町926番地の4に東消防署佐保出張所を移転
	1	1月	秋の火災予防運動初日（11月9日）に三条通りを初の防火パレード実施
	1	2月	防災指導車購入
2年	4月		消防職員定数 260名
	9月		中消防署西大寺出張所改築工事のため、二条町二丁目80-3に仮出張所を設置 第1回救急展を奈良そごうにおいて実施
3年	3月		50m級梯子車購入
	4月		消防職員定数 270名
	7月		患者等搬送事業乗務員講習会実施
4年	1月		中消防署西大寺出張所改築完成
	4月		消防職員定数 288名 右京二丁目1番地の1に中消防署北出張所新設、同所に35m級梯子車配備 東消防署佐保出張所に救急車配備
	5月		第1回救急救命士国家試験合格 1名
	6月		学園前保育園幼年消防クラブ発足 50名
	1	1月	第2回救急救命士国家試験合格 1名
5年	3月		日本損害保険協会より救急普及啓発広報車の寄贈
	4月		消防職員定数 302名 高規格救急車（1台）購入 救急救命士の業務開始
	6月		みずほ保育園幼年消防クラブ発足 30名
	1	0月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（CD-1）の寄贈
6年	4月		消防職員定数 317名 応急手当普及啓発活動の開始 第5回救急救命士国家試験合格 1名
7年	1月		阪神大震災が発生し緊急消防援助隊として職員を派遣
	4月		第七代消防長に古田育宏氏就任 第7回救急救命士国家試験合格 1名 消防職員定数 344名
	7月		財団法人奈良市防災センター設立 初代理事長に森井堯運氏就任
	8月		奈良市防災センター（消防本部同一敷地内）運用開始
8年	3月		通信指令室を奈良市防災センター3階に移転し奈良市消防通信指令総合システム運用開始 災害対応特殊救急車（1台購入） 東消防署に配備 警防課に後方支援車を配備
	4月		第八代消防長に林茂樹氏就任 大柳生町1232番地に東消防署東部出張所新設 6出張所の所長に消防司令を配置 通信指令室に管理係を設置 第9回救急救命士国家試験合格 2名 消防職員定数 344名
	5月		県下の消防本部を設置している市町村相互間において、奈良県消防広域相互応援協定締結
9年	2月		特別表彰「まとい」受章
	4月		消防職員定数 354名 消防署の主幹を廃止し、副署長を置く。

- 4月 第11回救急救命士国家試験合格 1名
東大阪市、生駒市及び奈良市は、第二阪奈有料道路における消防相互応援協定を締結
- 10年 5月 情報収集用二輪車（オフロードバイク）3台購入
2月 市政100周年を迎える。
3月 ならまち消防ポンプ収納庫設置（飛鳥小学校）
4月 消防長事務取扱に桐木弘助役就任
奈良市消防本部を奈良市消防局に名称変更
中消防署北出張所を北消防署に昇格
警防課特別消防救助隊を救急救助課に改組
通信指令室を指令課に名称変更
文化財防災官1名（消防司令長）を設置
第13回救急救命士国家試験合格 1名
奈良県防災ヘリコプター導入に伴い隊長（司令長級）1名派遣
- 7月 第四代消防団長に辰巳道憲氏就任
- 10月 愛の園保育園幼年消防クラブ発足 10名
中登美保育園幼年消防クラブ発足 37名
- 11月 第14回救急救命士国家試験合格 1名
- 12月 「古都奈良の文化財」8資産群がユネスコの世界遺産に登録
- 11年 3月 第九代消防長に松田久雄氏就任
西消防署に高規格救急車を配備
防災ヘリコプター運用に伴い、奈良県（防災航空隊）と奈良県防災ヘリコプター応援協定を締結
4月 消防局に理事を置く。
指令課を三部制にし、指令第三係を新設
世界遺産登録社寺（6社寺）に小型動力ポンプを配備 6台
第15回救急救命士国家試験合格 3名
- 12年 4月 消防局に職員課及び職員厚生係を新設し、消防総務部（総務課、職員課）と生活安全部（警防課、救急救助課、予防課、指令課）に改組
東消防署佐保出張所を北消防署佐保出張所に変更
5月 第17回救急救命士国家試験合格 1名
11月 第18回救急救命士国家試験合格 1名
- 13年 4月 4出張所（南部、東部、西大寺、佐保）を分署に名称変更し南部分署に救急隊を配置
東・中消防署に特別救助隊各1隊配置
国際消防救助隊に隊員8名が登録
第4回全国消防音楽隊フェスティバル参加（神戸市）
5月 第19回救急救命士国家試験合格 1名
11月 高所救助放水車購入
- 14年 4月 奈良市が中核市に移行
第21回救急救命士国家試験合格 2名
11月 消防音楽隊が発足15周年記念「市民ふれあいコンサート」を開催
- 15年 4月 第十代消防長に佐賀勝彦氏就任
第23回救急救命士国家試験合格 2名 計19名
- 15年 5月 第24回救急救命士国家試験合格 1名 計20名
- 16年 4月 第25回救急救命士国家試験合格 1名 計21名
7月 平成16年7月福井豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊として奈良市消防局から11名が福井県福井市及び足羽郡美山町（現福井市美山町）へ出動
- 10月 第26回救急救命士国家試験合格 1名 計22名

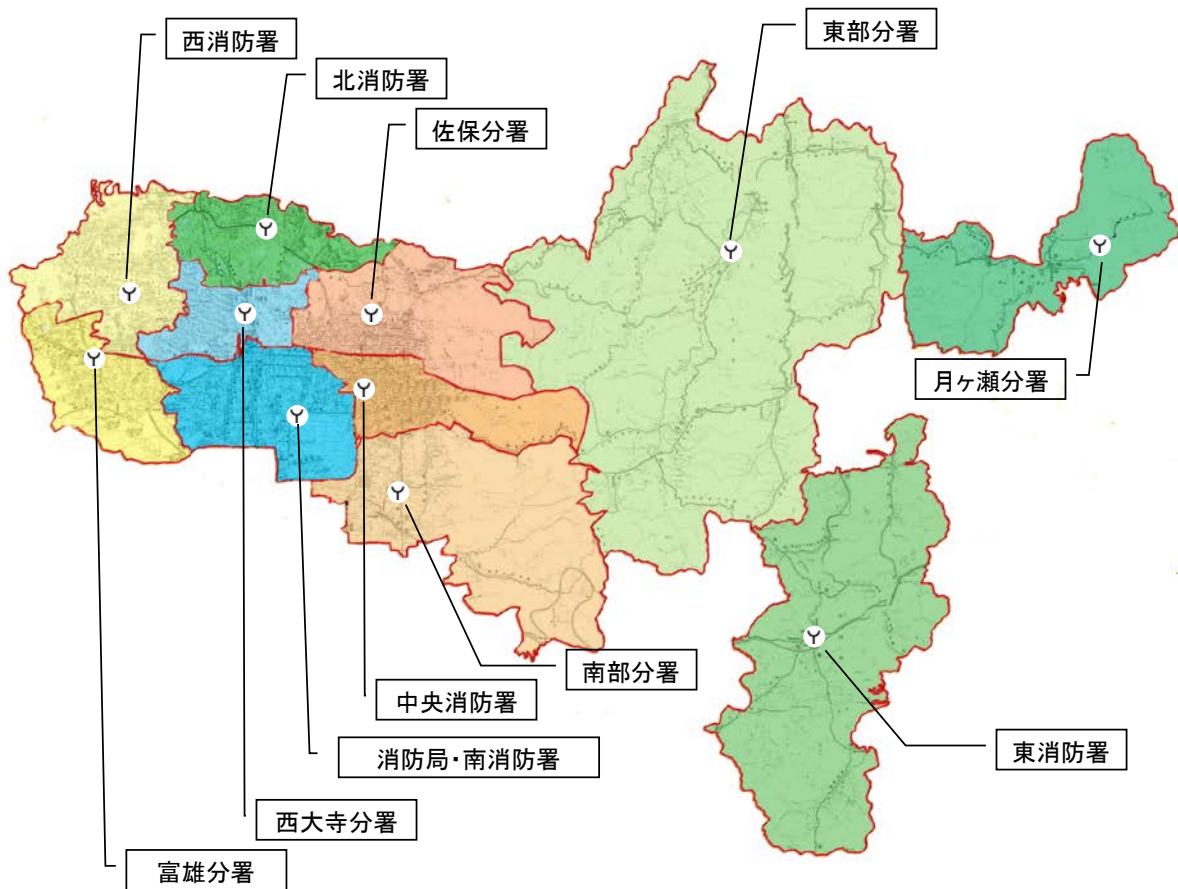
		第5回全国消防音楽隊フェスティバル参加（浜松市）
12月		消防職員定数394人
17年	2月	東消防署に高規格救急車を配備
	3月	西消防署に30m級梯子付消防自動車を配備
	4月	奈良市・都祁村・月ヶ瀬村が合併 東消防署を中央消防署に、中消防署を南消防署に変更 山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ都祁消防署を東消防署に、山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ月ヶ瀬分遣所を東消防署月ヶ瀬分署として運用開始 北消防署佐保分署を中央消防署佐保分署に、中消防署西大寺分署を南消防署西大寺分署に変更（消防体制：5消防署5分署1出張所） 第五代消防団長に窪田康男氏就任 第27回救急救命士国家試験合格 1名 計23名
	8月	奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、中央消防署に配備
18年	3月	高規格救急車（1台）購入 中央消防署に配備 奈良市消防通信指令システムが更新され運用開始 中央消防署新庁舎（奈良市西木辻町）が完成し運用開始
	4月	専任女性救急隊員2名（隔日勤務）を中央消防署に配置 第28回救急救命士国家試験合格 2名 計25名
	5月	第29回救急救命士国家試験合格 3名 計28名
	6月	奈良県遊技業協同組合より指令車（1台）寄贈され、警防課に配備
19年	4月	第十一代消防長に猪岡秀夫氏就任 第六代消防団長に黒文雄氏就任 専任女性救急隊員1名（隔日勤務）を南消防署に配置
	5月	第30回救急救命士国家試験合格 3名 計31名
20年	4月	消防職員定数394人 部制（消防総務部、生活安全部）を廃止し災害対策室を設置する。 局及び署を担当する次長を置く。 職員課を廃止 総務課においてグループ制を導入 警防課を消防課に名称変更し、消防係と防災係を統合し消防防災係に、機械係を施設係に変更 予防課において予防係と査察係を統合し予防査察係に、建築係と危険物係を統合し指導係に変更 消防署において警防係を消防救急係に、救急救助係を救助係に、分署において警防救急係を消防救急係に、出張所において警防係を消防係に変更 総務省消防庁へ職員1名派遣 奈良市消防音楽隊に副隊長を置く。
	5月	第31回救急救命士国家試験合格 3名 計34名
21年	3月	消防音楽隊に演奏活動用新型バスが配備
	4月	消防職員定数394人 救急救助課を救急課に名称変更し、救急係及び救助係を廃止し、救急管理係、救急指導係を置く。消防課に救助係を置く。 中央消防署及び西消防署に3部制の救急隊を置く。 奈良市消防団に初の女性消防分団（広報指導分団39名）が発足
	5月	第32回救急救命士国家試験合格 3名 計37名
	7月	奈良県遊技業協同組合より救急車（1台）寄贈され、西大寺分署に配備
22年	2月	東消防署月ヶ瀬分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備

- 3月 南消防署に救助工作車Ⅲ型を配備
- 4月 第十二代消防長に野口隆身氏就任
消防職員定数412人
消防局に救急業務及び指令管制業務を統括する情報救急室を新設し、情報救急室(救急課、指令課)と災害対策室(消防課、予防課)に改組
消防局全課にグループ制(担当制)を導入
次長(消防局、消防署担当)を廃止し、副局長、消防危機統制監を置く。
総務省消防庁へ職員1名派遣
消防課に指揮救助隊を置く。
南消防署に高度救助隊を配置
西消防署富雄出張所を西消防署富雄分署に変更し救急隊を配置
中央消防署及び西消防署の救急隊を2部制に変更
西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
- 5月 第33回救急救命士国家試験合格 4名 計41名
- 6月 中央消防署に災害対応特殊救急車を配備
- 7月 第16回全国女性消防団員活性化奈良大会を開催
- 10月 第6回全国消防音楽隊フェスティバルを開催(全国より21隊出演)
市立奈良病院にドクターカーを配備し運用を開始(週3日)
- 11月 第22回全国消防操法大会(愛知県蒲郡市)に奈良市消防団柳生分団が出場
- 23年 2月 東消防署東部分署にCDI型消防ポンプ自動車を配備
東消防署に救助工作車I型を配備
- 3月 消防団LIVE2011in奈良を開催
東北地方太平洋沖地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県隊(第三次隊まで派遣)として奈良市消防局から62名が宮城県亘理郡山元町へ出動
- 4月 消防職員定数412人
消防課指揮救助隊のかいに指揮支援隊を置く。
消防署組織の係制を廃止し、担当及び小隊制を導入するとともに、複数小隊を管理する中隊長を置く。
東消防署に高規格救急車を配備
日本消防協会へ職員1名派遣
ドクターカーの運用を週3日から週4日に変更
- 5月 全国共済農業協同組合連合会奈良県本部より高規格救急車(1台)寄贈され西消防署に配備
- 24年 4月 第34回救急救命士国家試験合格 3名 計44名
第十三代消防長に徳岡泰博氏就任
消防職員定数412人
(財)奈良市防災センターが解散し、総務課のかいに防災センターを置く
ドクターカーの運用を週4日から週5日に変更
総務省消防庁へ職員1名派遣
第35回救急救命士国家試験合格 3名 計46名
- 5月 消防課に指揮支援車を配備
- 9月 総務省消防庁より燃料補給車配備(緊急消防援助隊活動用車両として無償使用)
- 11月 奈良市消防局、相楽中部消防組合消防本部で初の「合同消防フェア」を開催
- 25年 3月 第1回奈良市消防団活性化大会を開催し県下で初めて消防団協力事業所を認定
総務省消防庁より支援車I型配備(緊急消防援助隊活動用車両として無償使用)
- 4月 消防職員定数412人
第七代消防団長に川寄政信氏就任
第36回救急救命士国家試験合格 3名 計49名

		総務省消防庁より可搬型衛星基地局配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
	9月	西消防署新庁舎が完成（鶴舞西町）し運用開始
1	1月	消防団120周年・自治体消防65周年記念奈良県消防大会
	12月	日本消防協会より防災活動車配備
26年	3月	総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車及び資機材保管備蓄倉庫一式配備 第2回奈良市消防団活性化大会を開催 南消防署に20m級屈折はしご付消防車を配備
	4月	第十四代消防長に酒井孝師氏就任 消防職員定数412人 ドクターカーの運用を週5日から週6日に変更 第37回救急救命士国家試験合格 3名 計58名（新規採用者含む） 総務省消防庁へ職員1名派遣
	5月	救急隊による搬送先病院、直接交渉開始
	8月	「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」に参加
1	0月	女性防災クラブ30周年記念式典をならまちセンターで開催
27年	2月	第3回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施
	4月	消防職員定数412人 第38回救急救命士国家試験合格 4名 計62名（新規採用者含む）
1	2月	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入し中央消防署に配備
28年	2月	第4回奈良市消防団活性化大会「消防団とDMAT・DPAT合同訓練」を実施
	3月	西消防署に救助工作車Ⅱ型を配備
	4月	消防職員定数412人（実員数385人） 消防局組織改編を実施し当直勤務者のシフトを2部制から3部制に変更 奈良市生駒市消防指令センター共同運用開始 総務省消防庁へ職員1名派遣 第39回救急救命士国家試験合格 5名 計65名
	10月	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を奈良県で開催
	12月	消防本部における女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的広報として「ワンデイインターンシップ京都会場」にブース初出展
29年	2月	第5回奈良市消防団活性化大会「奈良市消防団を中核とした地域防災力強化訓練」を開催 南消防署に高規格救急車を配備
	3月	消防庁長官竿頭授受賞 第7回全国消防音楽隊フェスティバル参加（豊中市）
	4月	第十五代消防長に藤村正弘氏就任 消防職員定数412人（実員数378人） 第40回救急救命士国家試験合格 3名 計70名（新規採用者含む）
1	1月	西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
30年	2月	第6回奈良市消防団活性化大会「～守ろう我が町、我が地域～」を開催 中央消防署南部分署にCDⅠ型消防ポンプ自動車を配備
	4月	消防職員定数412人（実員数374人） 総務省消防庁へ職員1名派遣 第41回救急救命士国家試験合格 3名 計74名（新規採用者含む） 月ヶ瀬分署に救急救命士を配置し5署6分署すべてに救急救命士を配置
	7月	平成30年7月豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から60名が岡山県倉敷市真備町へ出動

3 消防機関配置図

(1) 局、署所配置図



市 勢

面 積	276.94 km ²		東西 33.51 km	南北 22.22 km
	東 経		135°48'	
	北 緯		34°41'	
人 口	平成30年		平成29年	前年との比較
	男	168,225人	169,045人	△820
	女	189,930人	190,621人	△691
	計	358,155人	359,666人	△1,511
世 帯 数	161,392		160,242	1,150

(2) 消防施設



消防局・南消防署併設庁舎



南消防署西大寺分署



中央消防署



中央消防署南部分署



西消防署



中央消防署佐保分署



北消防署



西消防署富雄分署



東消防署



東消防署東部分署



防災センター



東消防署月ヶ瀬分署

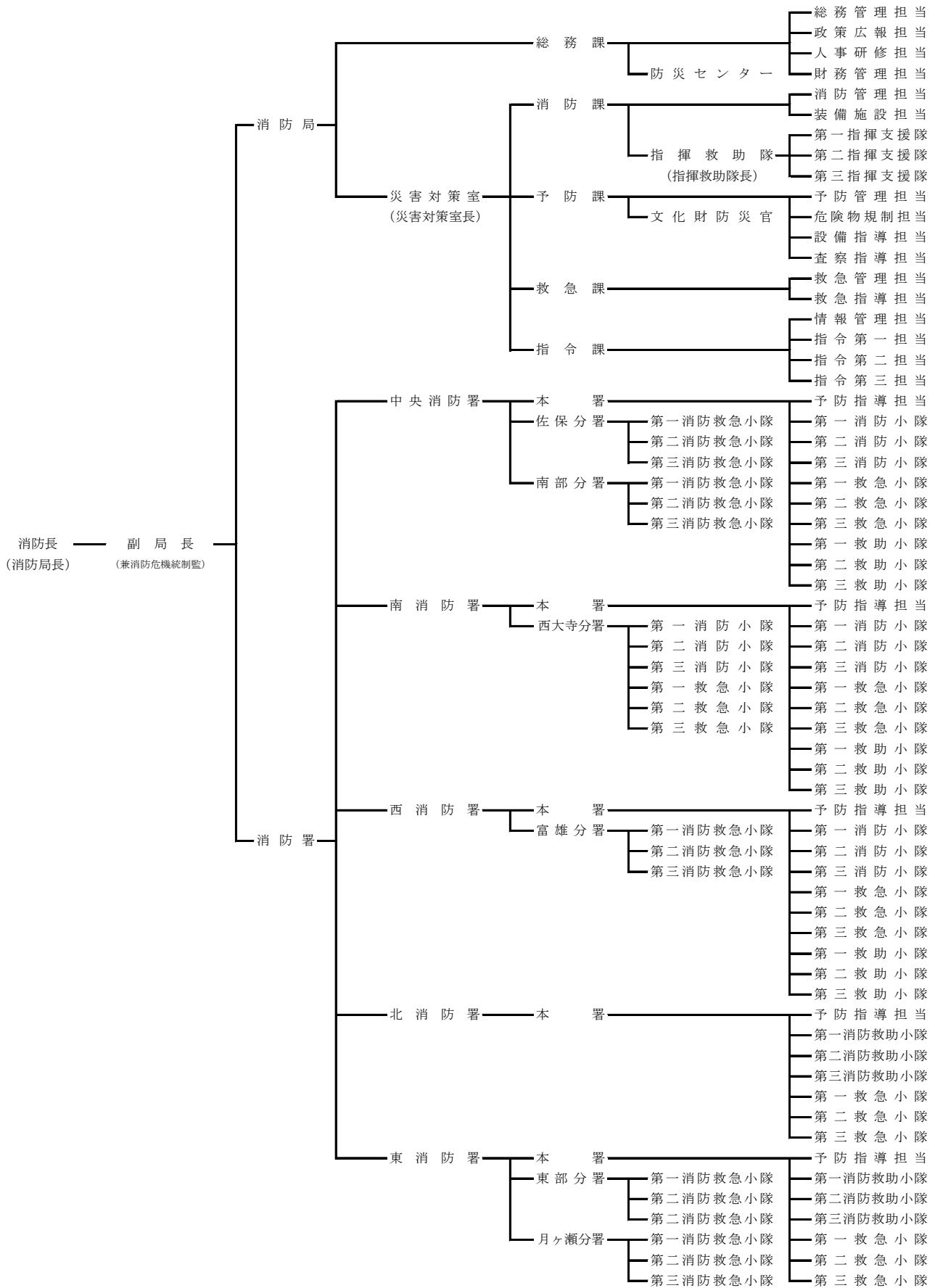
施設名	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	建物延べ面積 (㎡)	竣工年月日
消防局・南消防署	八条五丁目 404-1 0742(35)1191(代表)	RC造 5階建	6,622.12	2,431.65	昭和58年10月
南消防署西大寺分署	二条町二丁目 1-1 0742(33)4605	RC造 3階建	454.80	564.33	平成4年1月
中央消防署	西木辻町 43-1 0742(22)7051	RC造 3階建	1,333.05	1,405.20	平成18年3月
中央消防署佐保分署	法蓮町 926-4 0742(22)7055	RC造 2階建	1,471.05	399.75	平成元年8月
中央消防署南部分署	横井五丁目 497-3 0742(61)7025	RC造 2階建	1,088.93	500.40	昭和62年4月
西消防署	鶴舞西町 1-19 0742(45)7621	RC造 2階建	2,144.40	1,185.69	平成25年9月
西消防署富雄分署	三碓六丁目 10-40 0742(47)7119	RC造 2階建	1,234.99	500.40	昭和60年12月
北消防署	右京二丁目 1-1 0742(71)9119	RC造 2階建	4,218.19	1,008.87	平成4年3月
東消防署	針町 647-1 0743(82)0513	RC造 2階建	1,367.00	587.05	昭和53年5月
東消防署東部分署	大柳生町 1232 0742(93)0119	RC造 2階建	1,019.66	492.36	平成8年3月
東消防署月ヶ瀬分署	月ヶ瀬尾山 3395-2 0743(92)0945	RC造 2階建	559.00	249.09	昭和57年4月
防災センター	八条五丁目 404-1 0742(35)1106	SRC造 4階建	消防局 同一敷地	3,021.37	平成7年6月

総務関係



「通常点検」

4 奈良市消防局の組織



5 事務分掌

消防局	総務課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公印の管守に関する事。 2. 文書の収発及び保存整理に関する事。 3. 消防長会に関する事。 4. 消防団に関する事。 5. 局の総合企画及び基本施策に関する事。 6. 消防関係条例、規則、規程等の審査及び制定改廃手続に関する事。 7. 消防統計に関する事。 8. 業務改善及び事務能率の増進に関する事。 9. 消防音楽隊に関する事。 10. 消防広報に関する事。 11. 市民の要望及び相談の処理に係る事務の統轄に関する事。 12. 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関する事。 13. 職員の配置及び勤務に関する事。 14. 職員の給与、その他の給付の規定、裁定及び支給に関する事。 15. 表彰に関する事。 16. 研修及び研修計画に関する事。 17. 職員の公務災害補償に関する事。 18. 公務による交通事故の処理及び賠償に関する事（消防課主管に属するものを除く。）。 19. 職員の福利厚生に関する事。 20. 職員の健康及び安全衛生管理に関する事。 21. 職員の服務規律等に関する事。 22. 庁中管理の統轄に関する事。 23. 消防職員委員会に関する事。 24. 予算の編成及び執行並びに決算事務の総括に関する事。 25. 職員の給貸与品に関する事。 26. 他の課の主管に属しない事。 27. 課の庶務に関する事。
	防災センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災センターに関する事。 2. センターの庶務に関する事。

消 防 局	災 害 対 策 室	消防課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害の警備に関する事。 2. 災害対策の連絡及び調整に関する事。 3. 非常警防体制及び特別警戒体制の実施に関する事。 4. 消防相互応援協定に関する事。 5. 地域防災計画及び水防計画に関する事。 6. 都市計画法（昭和43年法律第100号）に基づく開発行為に係る同意に関する事。 7. 消防水利の開発及び保全に関する事。 8. 水防資器材の整備保全に関する事。 9. 防災総合訓練等に関する事。 10. 消防車両等の配置計画に関する事。 11. 消防機械器具の整備及び整備技術の指導に関する事。 12. 特殊な消防機械器具の操作技術の指導に関する事。 13. 消防車両等の燃料に関する事。 14. 消防車両等の登録及び検査等に関する事。 15. 車両管理の総括に関する事。 16. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 17. 室及び課の庶務に関する事。
		指揮救助隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救助対策及び救助活動に関する事。 2. 救助隊の教育訓練及び救助技術に関する事。 3. 救助機械器具の整備保全及び操作技術の指導に関する事。 4. 救助統計に関する事。 5. 救助の警備計画に関する事。 6. 指揮支援隊に関する事。 7. 緊急消防援助隊に関する事。 8. 国際消防救助隊に関する事。 9. 隊の庶務に関する事。
		指揮支援隊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害現場の指揮支援に関する事。 2. 災害現場の安全管理及び現場指揮体制の調査研究に関する事。 3. 災害現場の情報収集及び現場広報に関する事。 4. 災害の警戒及び防除に関する事。 5. 消防活動技術の研究に関する事。 6. 火災防御検討会に関する事。 7. 警防計画及び訓練に関する事。
		予防課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防施策の計画立案に関する事。 2. 火災予防の対策及び広報に関する事。 3. 防火管理者資格講習及び指導に関する事。 4. 火災原因及び損害の調査に関する事。 5. 火災警報の発令に関する事。 6. 予防統計に関する事。 7. 女性防災クラブに関する事。 8. 住宅防火に関する事。 9. 住宅用火災警報器の普及促進に関する事。 10. 危険物の許可、認可及び規制に関する事。 11. 指定可燃物その他特殊な物質の防火に関する事。 12. 危険物取扱者等及び危険物施設の管理者の指導に関する事。 13. 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関する事。 14. 危険物の災害予防対策及び調査研究に関する事。 15. 建築物の確認、許可及び認可の同意に関する事。 16. 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。 17. 建築物の防火に関する事。 18. 防火対象物の使用届出等に関する事。 19. 防災規制の指導に関する事。 20. 予防査察の計画、実施及び指導に関する事。 21. 防火対象物の違反処理に関する事。 22. 課の庶務に関する事。

消 防 局	災 害 防 策 室	救急課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急業務の基本計画に関する事。 2. 救急隊の運用に関する事。 3. 救急情報の収集及び救急統計に関する事。 4. 救急医療関係機関等との連絡及び調整に関する事。 5. 救急隊員の感染防止対策及び健康管理に関する事。 6. 救急資機材の配置及び開発に関する事。 7. 救急業務の需要に係る対策に関する事。 8. 救急救命士及び救急隊の教育訓練に関する事。 9. 救急医療及び救急技術の調査研究に関する事。 10. 応急手当の普及啓発活動に関する事。 11. 患者搬送事業に関する事。 12. メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の質的向上を図る体制をいう。）に関する事。 13. 救急業務の高度化推進に関する事。 14. 救急ワークステーション設置準備に関する事。 15. 課の庶務に関する事。
		指令課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子計算機器及び入出力媒体の管理に関する事。 2. 電子計算機器処理に係る情報の管理に関する事。 3. 端末機の操作研修及びパスワードの管理に関する事。 4. その他電子計算機器の運用に関する事。 5. 水火災、救急その他の災害の受報及び出動指令に関する事。 6. 通信施設及び器具の運用管理に関する事。 7. 消防隊等の出動の統制的運用に関する事。 8. 水火災、救急その他の災害の現場の通信統制に関する事。 9. 水火災、救急その他の災害の現場の情報収集及び連絡に関する事。 10. 職員の非常招集に関する事。 11. 医療機関等との連絡及び協調に関する事。 12. 通信施設の技術研究及び指導に関する事。 13. 防災気象の通信連絡に関する事。 14. 課の庶務に関する事。

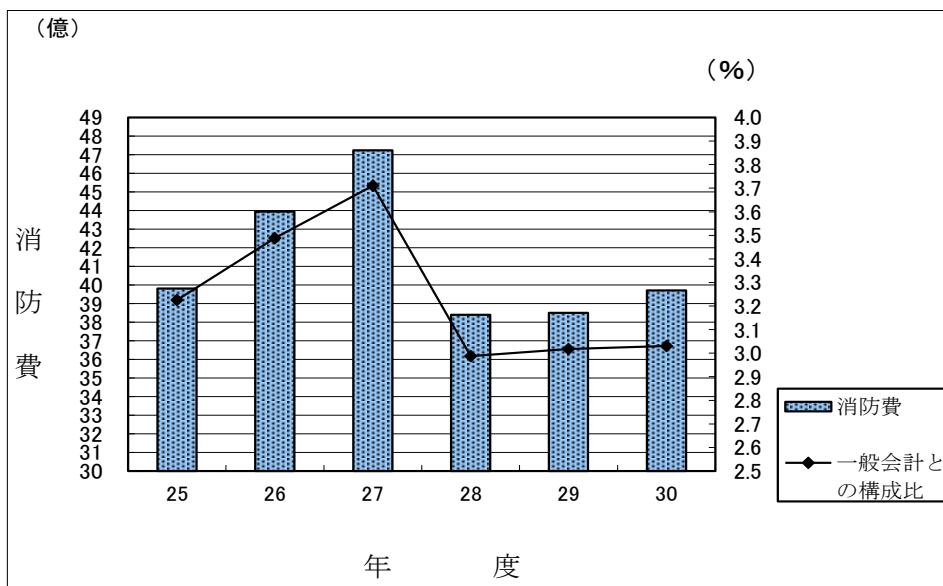
消 防 署	予防指導担当		<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防の対策及び広報に関する事。 2. 査察に関する事。 3. 防火対象物の設備及び防火管理者の指導に関する事。 4. 消防用設備等の設置の指導及び点検結果報告に関する事。 5. 予防統計に関する事。 6. 火災その他の災害の調査に関する事。 7. 火災原因及び損害の調査に関する事。 8. 署の事務の企画調整に関する事。 9. 公務による交通事故の処理に関する事。 10. 署の庶務に関する事。 11. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 	
	消防小隊 (中央・南・西署・西大寺分署)	消防救助小隊 (北・東消防署)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 警防計画及び訓練に関する事。 2. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 3. 消防地水利の開発、調査及び保全に関する事。 4. 消防の機械器具の整備及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 7. 自衛消防隊の訓練の指導に関する事。 8. 消防相談に関する事。 9. 火災その他の災害の調査に関する事。 10. 職員の非常招集に関する事。 11. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 12. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 13. 火災原因及び損害の調査に関する事。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 	
	救助小隊 (中央・南・西署)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害現場の安全管理に関する事。 2. 救助訓練に関する事。 3. 人命の救助及び防火に関する事。 4. 救助の機械器具の整備保全に関する事。 5. 救助の報告に関する事。 6. 緊急消防援助隊の出動に関する事。 7. 国際消防救助隊の派遣に関する事。 8. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 9. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 10. 救助技術に関する事。 11. 火災原因及び損害の調査に関する事。 12. 火災その他の災害の調査に関する事。 13. 査察及びその他の防火指導に関する事。 14. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 	
	救急小隊 (各署・西大寺分署)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急の機械器具の整備及び保全に関する事。 2. 救急対策及び救急処置に関する事。 3. 救急の報告に関する事。 4. 救急統計に関する事。 5. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 6. 火災その他の災害の調査に関する事。 	
	分 署 (西大寺分署を除く)	消防救急小隊		<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書の収発及び保管整理に関する事。 2. 警備計画及び訓練に関する事。 3. 火災その他の災害の警戒及び防御に関する事。 4. 消防水利の調査及び保全に関する事。 5. 査察及びその他の防火指導に関する事。 6. 救急対策及び救急処置に関する事。 7. 救急及び消防機械器具の整備保全に関する事。 8. 所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関する事。 9. 自衛消防隊の訓練及び指導に関する事。 10. 火災その他の災害の調査に関する事。 11. 消防相談に関する事。 12. 署所の軽微な庁中管理に関する事。 13. 火災原因及び損害の調査に関する事。 14. 公務による交通事故の物損処理に関する事。 15. 女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関する事。 16. 救急統計に関する事。 17. その他管内の消防及び救急業務に関する事。

6 消防予算

(1) 一般会計予算額と消防費との比較

年度	区分	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	構成比 (%)
平成25年度		123,438,462	3,981,231	3.23
平成26年度		126,000,000	4,394,717	3.49
平成27年度		127,300,000	4,723,511	3.71
平成28年度		128,496,754	3,839,467	2.99
平成29年度		127,561,997	3,849,752	3.02
平成30年度		130,526,400	3,970,159	3.04

(2) 消防費予算の一般会計に対する比率の推移



(3) 消防予算の内訳及び前年度との比較（当初予算）

科目		年度	平成30年度 (千円)	平成29年度 (千円)	比較増減 (千円)
一般会計			130,526,400	127,561,997	2,964,403
消防費			3,970,159	3,849,752	120,407
内訳	常備消防費		3,646,569	3,572,916	73,653
	非常備消防費		144,713	159,381	△14,668
	水防費		96	73	23
	消防施設維持費		4,781	13,082	△8,301
	消防施設費		174,000	104,300	69,700

(4) 消防費に対する人口・世帯当たり額

年度	区分	消防費 (千円)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
平成25年度		3,981,231	364,836	156,045	10,912	25,513
平成26年度		4,394,717	364,326	157,276	12,063	27,943
平成27年度		4,723,511	363,051	158,268	13,011	29,845
平成28年度		3,839,467	361,423	159,297	10,623	24,103
平成29年度		3,849,752	359,666	160,242	10,704	24,025
平成30年度		3,970,159	358,155	161,392	11,085	24,599

(平成30年度の人口及び世帯数は4月1日現在)

(5) 消防費性質別予算額

(千円)

科目	平成30年度		平成29年度		増減	
	額(A)	割合(%)	額(B)	割合(%)	(A) - (B) (C)	増減比 (%)
消防費	3,970,159	100.0	3,849,752	100.0	120,407	3.1
人件費	3,295,016	83.0	3,262,989	84.8	32,027	1.0
維持補修費	4,781	0.1	13,082	0.3	△8,301	△63.5
物件費	424,711	10.7	398,180	10.4	26,531	6.7
補助費等	71,651	1.8	71,201	1.8	450	0.6
普通建設事業費	174,000	4.4	104,300	2.7	69,700	66.8

7 職員の階級別配置状況

(平成30年4月1日現在)

所属等	区分	合	消防局長	副局長 危機 統制 室長 参事	課長 署長 防災官 主幹 副署長	補佐 主査 中隊長	主任 小隊長 副小隊長	係員			
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計		374	1	3	21	49	128	124	1	47	
局	局長	1	1								
	副局長・消防危機統制監 室長・参事	3		3							
	総務課	18		(1)	1	2	6	4		5	
	災害対策室	消防課	12		(1)	3	5	2	2		
		予防課	9			2	1	3	3		
		文化財防災官	(1)			(1)					
		救急課	6			1	2	2	1		
指令課	17			4	4	3	3		3		
小計	66	1	3	11	14	16	13		8		
署	中央消防署	本署	88	44		2	7	16	12		7
		佐保分署		22			1	9	12		
		南部分署		22			1	9	8		4
	南消防署	本署	65	43		2	7	15	11		8
		西大寺分署		22			1	9	9		3
	西消防署	本署	65	43		2	7	13	16		5
		富雄分署		22			1	9	8		4
	北消防署	27	27			2	4	9	7		5
	東消防署	本署	63	28		2	4	8	13		1
		東部分署		22			1	9	10		2
月ヶ瀬分署		13				1	6	5	1		
小計	308			10	35	112	111	1	39		
条例定数		412									

(注) 市長部局へ1名出向(定数外) 総務課、消防課、文化財防災官は事務取扱

8 職員の階級別勤続年数調べ

(平成30年4月1日現在)

階級別 年数別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	374	47	1	124	128	49	21	3	1
1年	5	5							
2年	5	5							
3年	2	2							
4年	3	3							
5年	15	15							
6年	12	12							
7年	14	3		10	1				
8年	10	2		8					
9年	13			13					
10年	13			13					
11年	19			19					
12年	8			8					
13年	9			9					
14年	17			17					
15年	5			2	3				
16年	5			1	4				
17年	0								
18年	0								
19年	2				2				
20年	0								
21年	0								
22年	18			6	12				
23年	0								
24年	25			4	21				
25年	17			5	11	1			
26年	23			2	19	2			
27年	17		1		14	2			
28年	12			1	6	5			
29年	11			1	6	4			
30年	1				1				
31年	13			2	7	3	1		
32年	0								
33年	17				7	7	3		
34年	9			1	2	3	3		
35年	11				4	4	3		
36年	20			2	3	5	8	1	1
37年	7					4	2	1	
38年	10				4	5	1		
39年	2					1		1	
40年	2					2			
41年	1					1			
42年	1				1				
43年	0								
44年	0								
45年	0								
46年	0								
47年	0								
48年以上	0								

9 職員の階級別年令調べ

(平成30年4月1日現在)

階級別 年令別	計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監
計	374	47	1	124	128	49	21	3	1
18歳	0								
19歳	2	2							
20歳	0								
21歳	0								
22歳	2	2							
23歳	3	3							
24歳	2	2							
25歳	7	7							
26歳	6	6							
27歳	10	6		4					
28歳	11	8		3					
29歳	9	3		6					
30歳	12	6		6					
31歳	16	1		15					
32歳	10			10					
33歳	14	1		13					
34歳	10			10					
35歳	11			11					
36歳	6			6					
37歳	9			9					
38歳	5			3	2				
39歳	7			2	5				
40歳	6			4	2				
41歳	16			6	10				
42歳	8			2	6				
43歳	23			2	21				
44歳	15				14	1			
45歳	21		1	3	12	5			
46歳	18			2	11	5			
47歳	14			1	11	2			
48歳	6			1	4	1			
49歳	7			1	5	1			
50歳	12				6	4	2		
51歳	1					1			
52歳	8			1	4	3			
53歳	6			1	1	3	1		
54歳	6			1	1	2	2		
55歳	15				5	4	6		
56歳	9			1	2	4	2		
57歳	10				2	4	3	1	
58歳	8				2	2	3	1	
59歳	13				2	7	2	1	1
60歳	0								
61歳	0								
62歳	0								
63歳	0								
64歳	0								
65歳以上	0								

10 職員の研修状況

(平成29年度中)

区	分	研 修 科 目	回 数	延人数
派遣研修	県消防学校	初任教育	1	5
		救急科（標準課程）	1	5
		救助科	1	2
		火災調査科	1	2
		幹部教育中級幹部科	1	1
	消防大学校	救助科	1	1
		緊急消防援助隊教育科（高度救助資器材コース）	1	1
	救急救命士養成課程	救急救命東京研修所	1	1
		大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	1
		京都市消防学校教養課救急教育訓練センター	1	1
	指導救命士養成研修	救急救命九州研修所	1	1
	県消防長会	消防長会研修	1	13
	その他	全国消防長会東近畿支部火災科学研修会	1	1
		国際救助隊セミナー	1	1
		国際消防救助隊連携訓練（全国・東近畿）	2	5
		指揮隊実務研修	2	2
		全国消防長会東近畿支部救助業務研究会	1	1
		全国消防長会東近畿支部予防業務研究会	2	4
		危険物保安技術講習会	2	2
		京都府火災調査業務研究会	1	5
		大阪府下消防長会火災調査事例発表会	1	1
		奈良県広域消防組合火災調査事例検討会	1	12
		大阪府東ブロック消防長会燃焼実験	1	5
		大阪府東ブロック消防長会火災調査業務推進会	1	4
		火災調査事例発表会（大阪市）	1	2
		火災調査用鑑識定機器の見学	2	6
		消防設備保守業務研修会	1	7
		東近畿支部住宅用火災警報器設置対策連絡会	1	1
		電気講習会（入門編） 高圧事故事例と防止対策	1	1
		企業防災対策指導研修会（京都市）	1	1
		公務災害補償等初任者研修会・実務担当者研修会	2	2
		潜水土士免許準備講習会	1	3
	高所作業車運転技能講習	2	3	
	一般研修	局	全職員研修会	2
特別研修	局	健康管理研修	1	17
		消防車両・積載器具に関する研修	5	34
		査察業務に関する研修	2	108
		火災調査研修	5	187
		救急業務に関する研修	1	8
職場研修	署	社会	64	284
		法規	6	47
		予防	110	505
		警防	658	2950
		救助	717	3272
		救急	168	795
		機械	80	384
		ポンプ操法	5	22
その他	210	1030		

11 奈良市消防音楽隊概要

消防音楽隊は、「消防行政のPR」と「防火思想の普及」のため、消防の諸行事、市のイベント等で演奏を行っています。又、広く市民と交流を図るために各種団体等からの演奏依頼にも積極的に参加し、火災予防と市民の安全を願いつつ活動を続けています。

(1) 音楽隊員の配置状況

(平成30年4月1日現在)

所属別		階級別								
		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防局	計	25	1	1	2	9	9	0	3	
	総務課	5	1		1	1	2			
	災害対策室	消防課	1				1			
		予防課	3				2	1		
		救急課	0							
指令課		0								
消防署	中央署	3				2			1	
	南署	4			1	1	2			
	西署	5		1		1	2		1	
	北署	2					1		1	
	東署	2				1	1			

※ 消防署については分署を含めた総数

(2) 音楽隊の編成状況

隊長 1名
副隊長 1名
楽長 1名
副楽長 1名
隊員 21名

計 25名



(楽器保有数)

(平成30年4月1日現在)

品名	数	品名	数
ピッコロ	2	マーチングユーフォニウム	1
フルート	2	チューバ	2
クラリネット	6	スーザフォン	2
アルトサクソ	2	スネアドラム	3
テナーサクソ	2	バスドラム	2
トランペット	7	クオード	1
コルネット	2	ドラムセット	1式
フレンチホルン	2	グロツケン	2
マーチングホルン	2	シンバル	1
テナートロンボーン	4	シンセサイザー	1
バストロンボーン	1	コンガ	1
ユーフォニウム	2	ボンゴ	1

(階級、年齢別)

(平成30年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	25	1	1	2	9	9	0	3
20才～24才	0							
25才～29才	3							3
30才～34才	3					2		1
35才～39才	7				1	6		
40才以上	12	1	1	2	8			

(3) 音楽隊の活動状況

派 遣 演 奏 等					
	合計	音楽隊 自主事業	消防関係	市関係	その他
回 数	7回	6回	1回	0回	0回

(平成29年度中)



「平成29年7月13日消防音楽隊朱雀小学校訪問演奏会」

防災センター関係



「ゴールデンウィーク防災学習『放水体験』」

12 奈良市防災センター

奈良市防災センターは、国土庁（当時）の防災基地建設モデル事業として全国で10番目に国の補助を受け、平成5年9月から平成7年6月までの3カ年の継続事業として建設しました。

災害時には、情報処理の迅速かつ適正な運用や応急救護、住民の避難場所として活用し、また平常時には、防災PR活動や防災教育を行う拠点とする防災基地として、平成7年8月1日に運用を開始して以来、多数の来館者を迎え皆様に親しまれています。

(1) 防災センター

ア 組織

所長（総務課主幹兼務）—— 臨時職員（8名）

イ 事業概要

奈良市防災センターの管理運営及び防災に関する知識と技術の普及事業を行うことにより、市民の防災意識の高揚を図る。

(2) 概要

ア 施設

所在地 奈良市八条五丁目404番地の1

開館 平成7年8月1日

敷地面積 6,622.12㎡（奈良市消防局・南消防署併設庁舎と同一敷地内）

延床面積 3,021.37㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

1階 消火体験、煙避難体験、台風体験、地震体験、119番通報体験、ビル火災と避難方法、奈良市の防災体制、緊急地震速報展示装置、火災とその対処法、防災Q&A、防災センター事務室

2階 研修室、視聴覚室、救急措置訓練室、図書室

3階 消防局指令課、奈良市・生駒市消防指令センター、災害対策作戦室、コンピュータ室

4階 多目的ホール、備蓄倉庫、無線機械室

イ 開館時間 午前9時30分から午後4時30分

ウ 休館日 月曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、開館しその翌日が休館）

休日の翌日（その日が、土・日曜日及び休日にあたる場合は開館）

年末年始 12月28日から翌年1月4日まで

エ 入館料 無料



「なっぴい煙避難体験」

(3) 入館状況

(平成29年度中)

区分 月	団体		個人(注1)			普通救命講習				合計
	団体数	人数	大人	小人	小計	団体申込		定期講習(注2)		
						団体数	人数	回数	人数	
4	4	78	281	88	369	0	0	2	16	463
5	16	451	647	139	786	1	28	3	29	1,294
6	22	499	1,143	79	1,222	5	77	2	12	1,810
7	22	352	487	201	688	4	60	3	37	1,137
8	30	598	675	303	978	5	116	2	29	1,721
9	36	900	338	101	439	3	84	3	6	1,429
10	42	1,911	628	110	738	1	8	2	9	2,666
11	40	1,095	746	92	838	1	14	3	17	1,964
12	24	682	609	146	755	2	57	2	31	1,525
1	13	201	429	136	565	3	32	3	32	830
2	19	578	695	94	789	7	83	2	14	1,464
3	26	531	516	160	676	4	29	3	17	1,253
合計	294	7,876	7,194	1,649	8,843	36	588	30	249	17,556

(注1) 中学生以上は大人、小学生以下は小人として計上

(注2) 定期講習とは毎月2回実施している普通救命講習Ⅰ(主に成人を対象とした講習)と2ヶ月に1回実施している普通救命講習Ⅲ(主に乳幼児を対象とした講習)でいずれも個人申込によるもの

(4) 施設利用状況

(平成29年度中)

区分 月	研修室		視聴覚室		救急処置訓練室		図書室	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	6	89	2	63	2	16	4	37
5	14	275	7	212	4	57	4	38
6	13	742	9	237	11	289	7	151
7	8	336	17	272	8	106	2	10
8	15	641	18	595	10	191	3	35
9	6	163	29	773	8	131	2	19
10	9	334	37	1,805	6	88	1	5
11	9	440	27	823	10	79	9	61
12	4	148	12	379	6	131	2	41
1	5	92	10	193	7	68	2	12
2	9	492	12	442	9	97	4	26
3	3	123	16	363	9	99	3	24
合計	101	3,875	196	6,157	90	1,352	43	459

警 防 関 係



「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」

13 消防車両等の配備状況

(平成30年4月1日現在)

署所 区分	計	消防局	中央消防署			南消防署		西消防署		北消防署	東消防署		
			本署	佐保分署	南部分署	本署	西大寺分署	本署	富雄分署		本署	東部分署	月ヶ瀬分署
計	117	21	17	6	5	17	4	11	4	10	11	6	5
ポンプ車	13		1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1
水槽付ポンプ車	5				1			1		1	1	1	
化学車	2		1			1							
30m梯子車	1							1					
35m梯子車	2		1							1			
25m屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1					1							
I型救助工作車	2									1	1		
II型救助工作車	2		1					1					
III型救助工作車	1					1							
電源車	1		1										
普通型(2B型)救急車	1										1		
高規格救急車	13	1	1		1	2	1	2	1	1	1	1	1
災害対応特殊救急車	2		1	1									
指令車	9	6	1					1			1		
広報車	5	3				1				1			
査察車	10	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1
バス	1	1											
楽器搬送車	1	1											
搬送車	4	1	1		1						1		
支援車	2	2											
輸送車	1					1							
連絡車	2	2											
燃料補給車	1	1											
予防啓発車	1	1											
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	16	1	5	2		3		1		1	1	1	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプは、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

14 消防水利状況

(平成30年4月1日現在)

(1) 消火栓

区分 署別	合 計	公 設	私 設	その他(簡水)
合 計	5,803	5,045	361	397
中央消防署	1,805	1,604	201	0
南消防署	1,335	1,237	98	0
西消防署	1,479	1,448	31	0
北消防署	522	491	31	0
東消防署	662	265	0	397

(2) 防火水槽

区分 署別	公 設				私 設			
	有 蓋		無 蓋		有 蓋		無 蓋	
	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上
合 計	510	41	133	0	666	41	34	9
中央消防署	123	13	12	0	204	16	6	2
南消防署	56	6	0	0	154	11	2	4
西消防署	118	11	0	0	187	12	1	1
北消防署	33	6	1	0	58	0	0	1
東消防署	180	5	120	0	63	2	25	1

(3) その他の水利

区分 署別	た め 池	プ ー ル	河 川
合 計	199	99	27
中央消防署	42	32	7
南消防署	38	15	6
西消防署	22	22	2
北消防署	22	12	0
東消防署	75	18	12

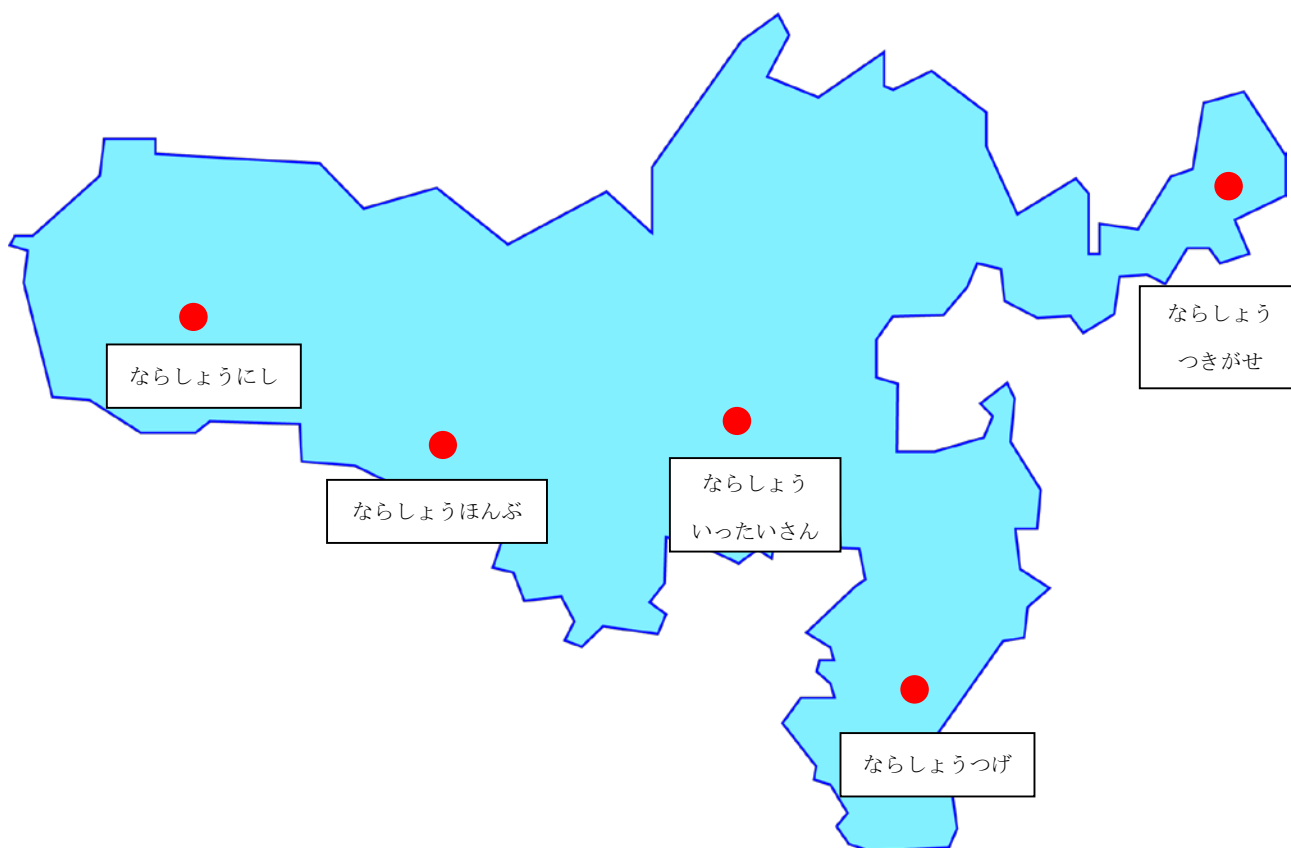
通 信 関 係



「奈良市・生駒市消防指令センター」

15 通信施設

(1) 基地局



基地局 (デジタル)	消防局	一体山 前進基地局	都祁 前進基地局	西消防署 前進基地局	月ヶ瀬 前進基地局
呼出名称	ならしょう ほんぶ	ならしょう いったいさん	ならしょう つげ	ならしょう にし	ならしょう つきがせ
出力	10W	5W	10W	10W	10W
実装 周波 数名 称	活動波 1	○	○		
	活動波 2	○	○	○	○
	活動波 3	○	○	○	○
	活動波 4	○			
	主運用波	○	○	○	
	統制波 1	○	○	○	
	統制波 2	○	○	○	
	統制波 3	○	○	○	

(2) 無線電話の現状

(平成30年4月1日現在)

区分・局別		実装周波数名称	出力	総数	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署	
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波1 活動波2 活動波3 活動波4 主運用波 統制波1 統制波2 統制波3	10W	86	21	17	14	11	8	15
		可搬型無線機		10W	8	3	1	1	1	1	1
		携帯無線機		5W	64	12	14	11	10	6	11
	アナログ無線機	可搬型無線機	防災相互波	10W	2	2					
		携帯無線機		5W	17	5	3	3	2	1	3
		携帯無線機 (署活動系)		1W	167	26	38	30	28	16	29
	市防災行政無線			1W	1	1					
	救急車積載携帯電話			0.8W	16	1	4	3	3	1	4
	画像伝送装置				16	2	4	3	3	1	3
位置管理用通信機				60	9	13	11	9	7	11	

(3) 有線電話

(平成30年4月1日現在)

区分局別	計	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
火災専用電話(固定電話・IP電話等) 119番	12	12					
非常用119番受付	10	10					
携帯119番	4	4					
携帯119番転送回線	6	6					
一般加入電話	34	6(一般) 4(着信専用) 3(単独) 3(発信専用)	5	3	4	2	4
内線	184	79	30	22	19	13	21
テレガイド	14	14					
警察電話	1	1					
110番転送	1	1					
大阪ガス直通	1	1					
市役所直通	1	1					
企業局直通(緑ヶ丘浄水場)	2	2					
第二阪奈道路ホットライン	1	1					
阪神高速	1	1					
近鉄生駒駅	1	1					

(4)119番着信件数

(平成29年中)

月	緊急性を要する通報								緊急性を要しない通報										
	総 数	火 災	救 急	救 助	警 戒	水 防	調 査	病 院 問 合 せ	問 合 せ	相 談	苦 情	感 謝	間 違 い	い た ず ら	回 線 テ ス ト	自 動 通 報 試 験	訓 練 通 報	そ の 他	
総 数	30,326	118	18777	235	290	1	21	2536	2625	352	18	23	1167	320	497	361	547	2438	
1	2,828	12	1,805	19	20			359	218	25	2		87	15	49	34	29	154	
2	2,352	18	1,524	32	24			228	165	34	2		89	13	29	32	45	117	
3	2,390	14	1,547	18	17			219	151	26	2	1	94	18	48	27	50	158	
4	2,344	6	1,473	12	20		7	188	206	10		1	76	21	68	17	35	204	
5	2,639	14	1,506	11	21		5	213	258	37		3	98	58	47	38	40	290	
6	2,283	10	1,404	22	16			158	177	39	1	1	107	17	29	24	50	228	
7	2,702	7	1,674	18	19		1	238	231	39	1	2	111	21	50	21	27	242	
8	2,565	8	1,565	22	17		1	226	266	34	4	2	102	28	33	25	26	206	
9	2,357	14	1,459	22	20	1		175	194	30	1	2	100	33	30	28	44	204	
1 0	2,595	6	1,586	16	66		3	150	234	28	1	2	117	27	53	32	51	223	
1 1	2,446	1	1,536	20	23		1	142	222	20	3	6	96	29	37	39	82	189	
1 2	2,825	8	1,698	23	27		3	240	303	30	1	3	90	40	24	44	68	223	

備考 警察電話、加入電話、医師搬送等は含まず

(5) 119番通報種別割合

(平成29年中)

月	総数	NTT 固定		携 帯		I P		その他		携帯+IP	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	30,326	7,718	25.5%	12,496	41.2%	8,680	28.6%	1432	4.7%	21,176	69.8%
1	2,828	727	25.7	1137	40.2	873	30.8	91	3.2	2,010	71.1
2	2,352	639	27.2	919	39.1	704	29.9	90	3.8	1,623	69.0
3	2,390	619	25.9	951	39.8	727	30.4	93	3.9	1,678	70.2
4	2,344	621	26.5	925	39.5	695	29.7	103	4.4	1,620	69.1
5	2,639	688	26.1	1,110	42.1	688	26.1	153	5.8	1,798	68.1
6	2,283	640	28.0	938	41.1	591	25.9	114	5.0	1,529	67.0
7	2,702	665	24.6	1,136	42.0	778	28.8	123	4.6	1,914	70.8
8	2,565	587	22.9	1,140	44.4	704	27.4	134	5.2	1,844	71.9
9	2,357	569	24.1	1025	43.5	650	27.6	113	4.8	1,675	71.1
10	2,595	637	24.5	1,044	40.2	742	28.6	172	6.6	1,786	68.8
11	2,446	611	25.0	991	40.5	720	29.4	124	5.1	1,711	70.0
12	2,825	715	25.3	1,180	41.8	808	28.6	122	4.3	1,988	70.4

(6) テレフォンガイド利用数

(平成29年中)

計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
17,436	1,934	1,691	1,505	1,131	2,258	1,815	1,424	1,027	1,146	1,280	849	1,376

(7) 月別気象状況 (消防局)

(平成29年中)

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hpa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1月	4.9	13.5	-2.3	69.2	98.3	26.3	2.8	21.3	北	35.5	19	5	1011.3	1023.2	987.3
2月	5.1	18.1	-1.6	69.1	98	23	2.6	16.5	南	48	16	7	1010.2	1022.6	991.2
3月	8	20.1	-0.6	63	97.5	11.1	2.7	20.3	北	48.5	28	5	1008.5	1018.2	995.5
4月	14.8	26.5	1.9	62.6	98.6	12.5	2.5	19.6	北	70.5	28.5	10	1005.5	1019.8	983.4
5月	20.7	32.7	8.9	57.9	98	14.1	2.3	14.9	北	82.5	44	7	1004.8	1018.9	989.7
6月	22.4	32.6	12.3	62.8	97.7	9.9	2.3	22.6	北	110.0	30	8	1001.1	1011.3	988.5
7月	28.9	37	22.1	70.1	97.5	34.4	2.2	12.5	西南西	55.0	18.5	7	1001.6	1016.6	993.7
8月	28.8	38.8	21.1	68.5	97.5	27.2	2.6	19.8	北	115.5	62.5	9	999.2	1008.5	971.0
9月	23.5	31.8	14.1	70.7	98.3	26.6	2.2	23.4	北	131.5	52.5	8	1003.6	1015.6	973.4
10月	17.6	30	6.6	82.6	99.4	36.1	2.6	29.4	北	417.5	186.5	10	1009.7	1018.0	972.5
11月	11.2	22.9	1.2	74.1	99.9	23.6	1.8	16.5	北北西	45	13	7	1011.9	1020.6	997.6
12月	5.6	15.3	-1.1	68.7	98.8	36.1	2.7	18.5	西	25	23.5	3	1012.4	1021.3	995.4
平均	16.0	26.6	6.9	68.3	98.3	23.4	2.4	19.6	北	98.7	43.5	9.0	1006.6	1017.9	986.6

(8) 月別気象状況 (東消防署)

(平成 29 年中)

区分 月	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)			降水量 (mm)			気圧 (hpa)		
	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 高	最 低	月 平 均	最 大	風 向	月 合 計 値	日 最 大	降 水 日 数	月 平 均	最 高	最 低
1月	1.3	11.2	-6.8	84	98.3	19.9	2.6	22.7	西	40.5	21	10	963.0	973.9	949.4
2月	1.6	14.7	-4.8	84.1	98.3	21.6	2.4	17.2	西	53.5	15	12	962.0	973.4	945.6
3月	3.9	15.7	-4.1	79.1	98	12.5	2.1	17.8	西	65.5	29.5	11	960.9	969.6	948.9
4月	10.9	23.3	-2.2	76.1	98.3	16.1	2.1	20.2	西	75.5	15	9	959.2	972.5	939.3
5月	16.5	27.7	3.2	73.5	98	19.1	1.8	15.2	西	66.5	28.5	8	959.5	972.5	949.4
6月	18.1	27.3	7.2	78.8	98.3	22.5	1.7	16.9	西	105.5	27	10	956.1	965.4	944.4
7月	24.4	31.5	19.5	87.6	98	49.7	1.8	14.7	西	138.5	32	13	957.7	962.2	949.9
8月	24.3	31.8	15.9	86.8	98.3	36.1	1.9	21	西	151.5	91	10	955.5	963.6	927.6
9月	19.2	26.7	9.9	86.7	98.3	30.5	1.6	21	西	166.5	70.5	10	958.9	969.8	931.0
10月	14.2	25.5	2.7	92.8	98.6	50	1.9	16.5	東北東	434.5	201	19	963.8	971.8	927.4
11月	7.7	19.3	-2.4	86	98.6	20.5	1.7	15.3	西	55	16	8	964.8	973.0	950.8
12月	1.9	12.7	-4.8	83.8	98.3	44.1	2.6	21.4	西	30	24	4	964.1	972.5	948.4
平均	12.0	22.3	2.8	83.3	98.3	28.6	2.0	18.3	西	115.3	47.5	10.3	960.5	970.0	942.7

救急関係



「奈良県ドクターヘリ要請訓練」

16 救急概要

平成29年中の救急出場件数は19,077件で前年と比べて757件増加、搬送人員は17,249人となり前年度より552人増加しました。1年間で市民約21人に1人の割合で搬送したことになります。

救急出場件数を事故種別に分類するとトップに急病12,115件、続いて一般負傷3,235件、交通事故1,384件の順となっており、この3つの種別だけで全体の約88%を占めています。

当市においては、これらの救急事案に対処するため、平成4年度から救急高度化推進事業として最新の資器材と優れた救急隊員をもって、高規格救急自動車14台と救急自動車2台、救急救命士67名（平成30年1月1日現在）を配置、また平成22年10月よりドクターカーの運用を開始し、あらゆる救急事故発生に備え市民の救命率向上を図るために万全の体制を期しております。



「ドクターカー」

17 救急資器材

(平成30年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
観察用資器材	患者監視装置	保温・搬送用資器材	雨おおい
	血圧計		スクープストレッチャー
	血中酸素飽和度測定器		担架
	検眼ライト		バックボード
	心電計	資通器信用材	保温用毛布
	体温計		車載無線機
	聴診器		携帯電話
	血糖値測定器		情報通信端末
呼吸・循環管理用資器材	気道確保用資器材	資保創器護傷材用等	心電図伝送等送受信機器
	吸引器一式		固定用資器材
	喉頭鏡	資消止感器毒・染材用防	創傷保護用資器材
	酸素吸入器一式		感染防止用資器材
	自動式人工呼吸器一式	その他の資器材	消毒用資器材
	自動体外式除細動器		トリアージタグ
	手動式人工呼吸器一式		膿盆
	マギール鉗子		はさみ
	呼気二酸化炭素測定器具		ピンセット
	ショックパンツ		分娩用資器材
	自動式心マッサージ器		冷却用資器材
	心肺蘇生用背板		保安帽
	特定行為用資器材		救急かばん
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	警笛		
資救器出材用	救命浮環		懐中電灯
	救命綱	在宅療法継続用資器材	
	万能斧	リングカッター	

18 救急概況（前年との比較）

区 分		年 別		比較（△減）
		平成 29 年	平成 28 年	
出場件数		19,077	18,320	757
事故種別	火災	28	36	△8
	自然災害	1	2	△1
	水難	3	1	2
	交通	1,384	1,396	△12
	労働災害	154	144	10
	運動競技	128	112	16
	一般負傷	3,235	3,020	215
	加害	80	74	6
	自損行為	145	174	△29
	急病	12,115	11,532	583
	転院搬送	1,582	1,625	△43
	医師搬送	162	160	2
	その他	60	44	16
救急件数		17,107	16,563	544
搬送人員（合計）		17,249	16,697	552
1ヵ月平均出場件数		1589.8	1,526.7	63.2
1日平均出場件数		52.3	50.2	2.1

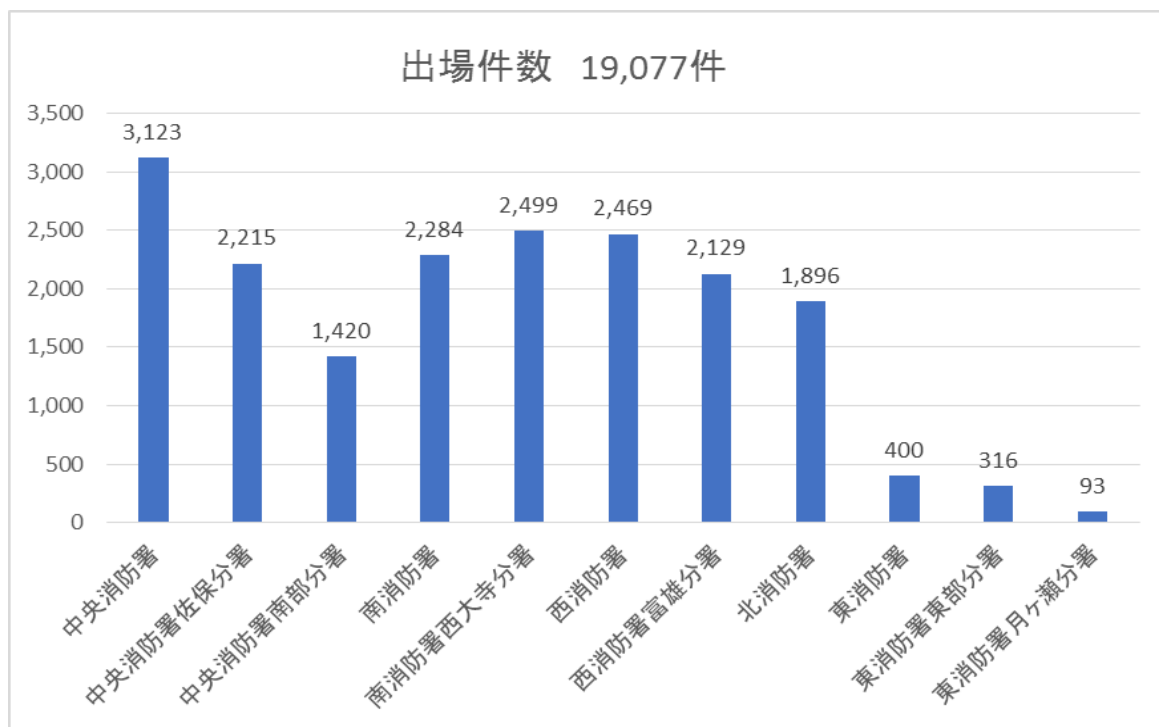
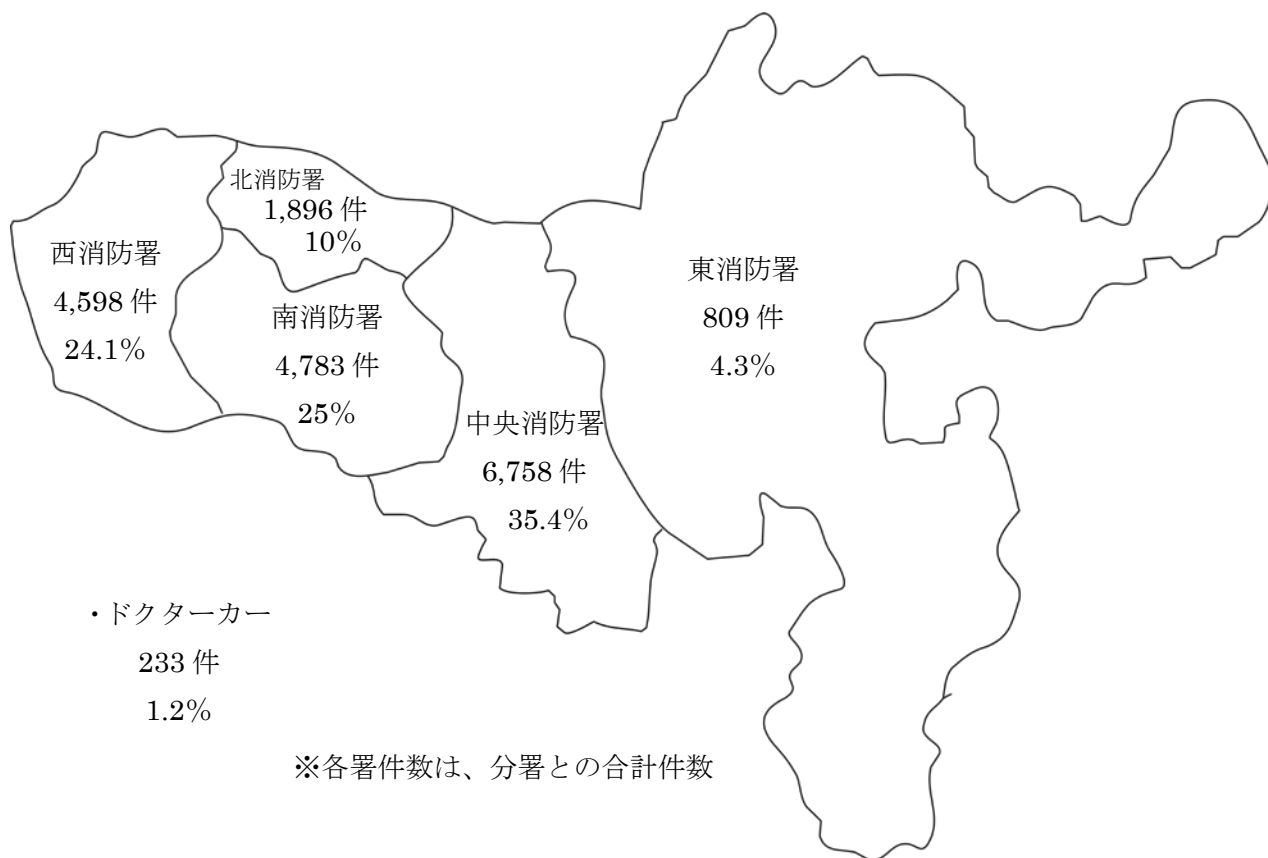
19 署別救急状況

(平成29年中)

区分		種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
ドクターカー	出場件数		233				3	4		5		1	59	161
	搬送人員		20									1	19	
中央消防署	本署	出場件数	3,123				219	15	10	520	23	32	1,971	330
		搬送人員	2,779				207	15	10	468	17	24	1,721	317
	佐保分署	出場件数	2,215	2	1		142	21	30	423	14	16	1,455	111
		搬送人員	2,030		1		136	21	27	393	12	13	1,322	105
	南部分署	出場件数	1,420	5			120	13	3	247	9	11	924	88
		搬送人員	1,315	1			114	13	3	233	7	9	852	83
南消防署	本署	出場件数	2,284	3			246	21	11	327	10	21	1,372	273
		搬送人員	2,137	2			255	22	11	306	10	17	1,254	260
	西大寺分署	出場件数	2,499	2			157	14	26	412	11	17	1,590	270
		搬送人員	2,243	1			149	14	33	366	9	14	1,402	255
西消防署	本署	出場件数	2,469	3		1	148	13	9	419	3	13	1,629	231
		搬送人員	2,267	1			144	13	9	386	3	11	1,480	220
	富雄分署	出場件数	2,129	3		1	147	13	9	393	6	20	1,350	187
		搬送人員	1,960	2		1	142	12	9	366	6	14	1,234	174
北消防署	本署	出場件数	1,896	2			115	11	17	326	3	13	1,282	127
		搬送人員	1,747				110	10	17	300	4	12	1,172	122
東消防署	本署	出場件数	400	3		1	51	21	11	69	1		228	15
		搬送人員	369			1	51	21	11	66			204	15
	東部分署	出場件数	316	2			30	6	2	74		1	192	9
		搬送人員	295	1			29	6	2	72			178	7
	月ヶ瀬分署	出場件数	93				6	2		20			63	2
		搬送人員	87				6	2		19			58	2
合計	出場件数	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145	12,115	1,804	
	搬送人員	17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560	

20 署別救急件数

(平成29年中)



21 月別救急状況

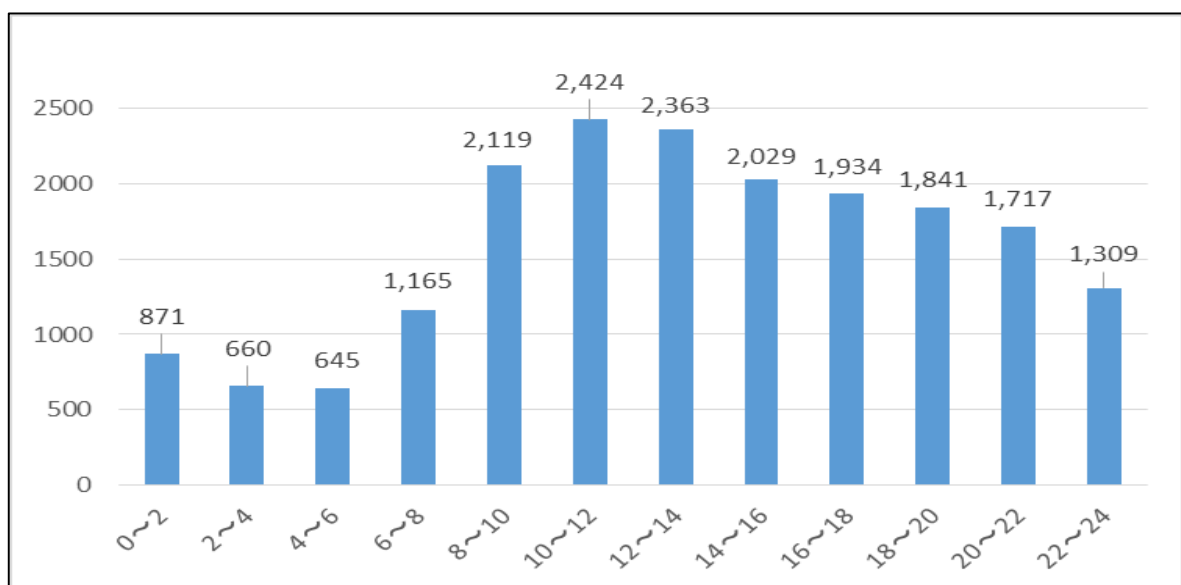
(平成29年中)

月別	区分	計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出場件数	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145	12,115	1,804
	搬送人員	17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560
1月	出場件数	1,819	3			103	21	7	313	9	13	1,152	198
	搬送人員	1,634				110	21	7	292	7	10	1,016	171
2月	出場件数	1,574	5			86	16	10	266	6	13	985	187
	搬送人員	1,395	2			81	16	10	239	4	11	882	150
3月	出場件数	1,575	3			113	11	8	264	9	5	1,006	156
	搬送人員	1,422	3			105	10	9	243	6	5	908	133
4月	出場件数	1,501				117	6	8	242	5	12	970	141
	搬送人員	1,339				107	6	8	221	5	7	862	123
5月	出場件数	1,526	7		1	111	4	16	256	9	17	971	134
	搬送人員	1,405	1		1	113	4	18	243	9	16	881	119
6月	出場件数	1,433	3			125	13	11	240	4	13	894	130
	搬送人員	1,304	2			124	14	13	220	4	8	807	112
7月	出場件数	1,675	3			115	23	18	234	5	13	1,123	141
	搬送人員	1,533				113	22	20	216	4	10	1,022	126
8月	出場件数	1,580	1			119	15	14	231	1	12	1,053	134
	搬送人員	1,437				113	14	14	209	1	11	950	125
9月	出場件数	1,469	1	1	1	106	12	15	267	8	17	930	111
	搬送人員	1,339		1		101	11	14	251	7	14	845	95
10月	出場件数	1,603			1	113	11	2	327	5	12	974	158
	搬送人員	1,466			1	111	11	2	299	6	10	884	142
11月	出場件数	1,584				138	14	7	284	9	9	979	144
	搬送人員	1,409				128	12	7	258	7	5	874	118
12月	出場件数	1,738	2			138	8	12	311	10	9	1,078	170
	搬送人員	1,566				137	8	10	284	8	8	965	146

22 時間別救急状況

(平成29年中)

時間別 事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
計	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145	12,115	1,582	162	0	60
0～2	871	3			41	7		120	15	7	649	25			4
2～4	660	1			23			84	13	11	503	21			4
4～6	645				28	3		98	4	6	489	16			1
6～8	1,165	7		2	86	5		196	3	10	843	8			5
8～10	2,119	2			191	30	6	373	1	9	1,342	131	28		6
10～12	2,424	2			176	37	34	413	1	9	1,336	368	42		6
12～14	2,363	2			161	27	39	379	5	20	1,311	361	51		7
14～16	2,029	2		1	168	25	21	356	2	6	1,191	222	29		6
16～18	1,934	6			178	10	20	377	9	13	1,123	180	11		7
18～20	1,841	1			169	4	4	338	3	19	1,186	112	1		4
20～22	1,717				99	2	2	300	7	16	1,195	92			4
22～24	1,309	2	1		64	4	2	201	17	19	947	46			6



23 傷病程度別搬送人員

(平成29年中)

区分	事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計		17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560
	軽症	7,573	3	1	0	1,079	80	92	1,800	58	26	4,359	75
	中等症	8,421	5	0	1	213	53	38	1,033	8	59	5,813	1,198
	重症	1,040	0	0	0	38	15	2	119	2	17	563	284
	死亡	208	0	0	1	10	1	0	23	0	13	158	2
	その他	7	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	1
新生児	軽症	5					-	-	1		-	4	
	中等症	16					-	-			-	3	13
	重症	2					-	-			-	1	1
	死亡	0					-	-			-		
	その他	0					-	-			-		
乳幼児	軽症	629				47	-		205			371	6
	中等症	142				5	-		18			88	31
	重症	10					-		1			3	6
	死亡	2					-					2	
	その他	1				1	-						
少年	軽症	491				111	1	58	77	4		235	5
	中等症	138				10		12	12	2	1	80	21
	重症	15				2					2	5	6
	死亡	2									1	1	
	その他	0											
成人	軽症	2,951	2	1		688	67	32	405	46	23	1,655	32
	中等症	2,043	1		1	132	37	26	145	4	49	1,319	329
	重症	229				21	10	1	12	2	12	91	80
	死亡	29				6	1		2		8	10	2
	その他	2				1						1	
老人	軽症	3,497	1			233	12	2	1,112	8	3	2,094	32
	中等症	6,082	4			66	16		858	2	9	4,323	804
	重症	784				15	5	1	106		3	463	191
	死亡	175			1	4			21		4	145	
	その他	4				1						2	1

24 救急隊員の行った応急処置回数

(平成29年中)

事故種別	処置	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法継続	除細動	血圧測定	心音等の聴取	血中酸素飽和度	心電図
	傷病程度															
合計	合計	415	569	41	1	326	2,752	396	650	1,159	18	32	16,324	1,283	17,004	6,275
	死亡	1	22	6	0	204	196	199	19	4	1	18	17	68	153	171
	重症	12	79	28	1	116	571	164	81	27	0	14	929	151	1,003	649
	中等症	87	191	6	0	3	1,738	30	313	234	14	0	8,255	697	8,381	3,541
	軽症	315	277	1	0	3	247	3	237	894	3	0	7,117	366	7,460	1,912
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7	2
急病	計	68	29	32	1	257	2,073	312	435	47	17	29	10,315	942	10,768	5,024
	死亡			5		155	150	151	13		1	16	10	54	118	131
	重症	1	4	21	1	98	375	137	54	3		13	484	117	534	447
	中等症	13	17	5		3	1,332	22	213	16	13		5,724	548	5,794	2,878
	軽症	54	8	1		1	216	2	155	28	3		4,094	223	4,319	1,567
	その他												3		3	1
交通事故	計	75	235	2		11	27	11	42	278			1,288	97	1,324	125
	死亡	1	9			9	9	9	2	2			2	4	8	8
	重症	6	30	2		2	13	2	6	12			36	7	37	14
	中等症	16	61				3		10	52			208	29	212	36
	軽症	52	135				2		24	212			1,040	56	1,064	67
	その他												2	1	3	
一般負傷	計	233	211	2		32	109	36	101	723		2	2,789	143	2,906	427
	死亡		2	1		23	21	22	4	1		1	3	6	16	20
	重症	2	18	1		7	19	8	8	5		1	114	10	117	28
	中等症	49	83				51	5	42	134			1,021	54	1,028	158
	軽症	182	108			2	18	1	47	583			1,651	73	1,745	221
	その他															
その他	計	39	94	5		26	543	37	72	111	1	1	1,932	101	2,006	699
	死亡		11			17	16	17	0	1		1	2	4	11	12
	重症	3	27	4		9	164	17	13	7			295	17	315	160
	中等症	9	30	1			352	3	48	32	1		1,302	66	1,347	469
	軽症	27	26				11		11	71			332	14	332	57
	その他												1		1	1

25 救急救命士による特定行為実施状況

(平成29年中)

事故種別 応急処置	急病					交通事故					一般負傷					その他					合計				
	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
食道閉鎖式 エアウェイ	49	44				2	1				4	2				4	5				59	52	0	0	0
気管挿管	6	6				1					2	1									9	7	0	0	0
心停止後 静脈路確保	52	38				1	2				6	4				5	5				64	49	0	0	0
薬剤投与	49	39				2	2				5	4				6	4				62	49	0	0	0
エピペン			1																		0	0	1	0	0
血糖値測定		2	21	11														1			0	2	22	11	0
心停止前 静脈路確保		4	15	7														1			0	4	16	7	0
ブドウ糖投与		1	12	7														1			0	1	13	7	0
合計	156	134	49	25	0	6	5	0	0	0	17	11	0	0	0	15	14	3	0	0	194	164	52	25	0

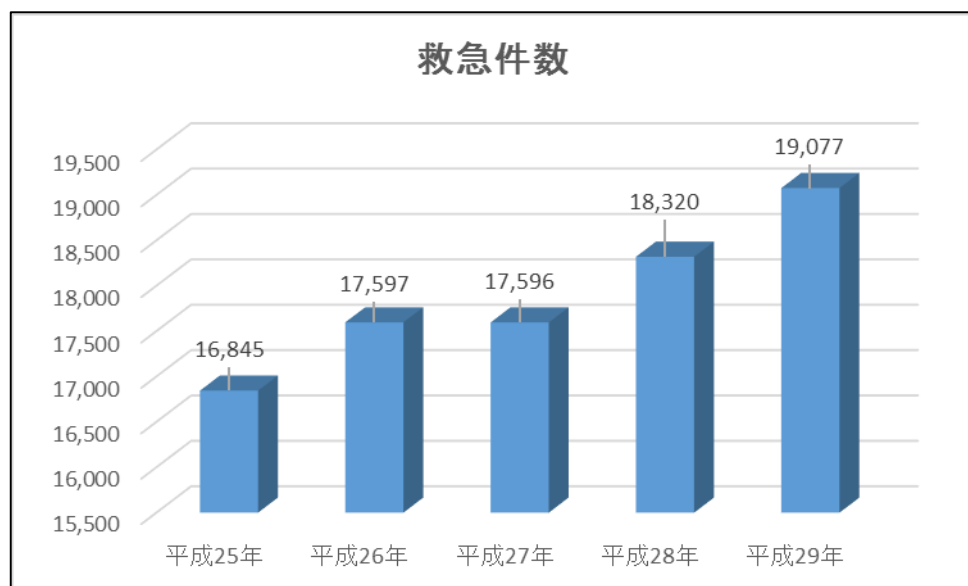
26 診療科目別搬送人員

(平成29年中)

診療科目別 傷病程度別	計	内 科	小 児 科	一 般 外 科	整 形 外 科	脳 外 科	循 環 器 科	消 化 器 科	産 婦 人 科	救 急 科	そ の 他
計	17,249	6,186	778	1,166	2,354	1,685	695	238	165	559	3,423
死 亡	208	69	1	2		2	3			83	48
重 症	1,040	196	11	20	127	97	64	8	10	351	156
中 等 症	8,421	3,737	180	236	1,138	805	499	194	117	116	1,399
軽 傷	7,573	2,183	586	907	1,087	779	128	36	38	9	1,820
そ の 他	7	1		1	2	2	1				

27 過去5ヵ年の事故別救急状況

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
		平成25年	出場件数	16,845	24	2	2	1,512	107	110	2,599	80	184
	搬送人員	15,498	7		1	1,504	107	118	2,421	65	140	9,651	1,484
平成26年	出場件数	17,597	29	1	2	1,435	128	101	2,790	73	189	11,037	1,812
	搬送人員	16,025	10	1		1,420	124	103	2,609	57	131	9,984	1,586
平成27年	出場件数	17,596	32	5	6	1,453	108	114	2,945	59	152	11,104	1,618
	搬送人員	16,148	9	5	2	1,455	108	114	2,717	57	105	10,130	1,446
平成28年	出場件数	18,320	36	2	1	1,396	144	112	3,020	74	174	11,532	1,829
	搬送人員	16,697	16	2		1,369	140	115	2,787	60	134	10,455	1,619
平成29年	出場件数	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145	12,115	1,804
	搬送人員	17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560



救助関係



「特殊災害対応訓練」

28 救助概要

平成29年中の救助出動件数は218件で、うち122件の救助活動により、124名を救助しています。

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は複雑多岐にわたるものとなり、救助における高度な知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の救助体制は、南消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、中央消防署に特別救助隊、西消防署に専任救助隊、北・東各消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全・安心に期しています。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練・教養を実施し資質向上に努めています。



「第二阪奈有料道路阪奈トンネル合同防災訓練」

29 高度救助用資機材

高度救助隊・特別救助隊に配置している救助工作車Ⅱ・Ⅲ型に、ファイバースコープ等の探索機、熱画像直視装置等の高度な資機材を積載し、大地震で多発する崩壊現場に対応するため、地震警報器等を導入し装備の充実を図っております。

資機材名	特 長
画像探索機（Ⅰ型） （ファイバースコープ）	生き埋め現場でカメラを空隙内に差込探索する。（ケーブルが自由自在に曲がる。Ⅱ型と比較して焦点距離が短い。）
画像探索機（Ⅱ型）	倒壊ビルの壁に穴を開けカメラを差込、室内等を探索する。（棒カメラを差込、Ⅰ型と比較して焦点距離が長く全体を観察出来る。）
水中探査装置	水難救助現場等、水中にカメラを入れ検索する。
地中音響探索機	地中聴音機で閉鎖された遭難者のノック信号を聞いて遭難者の位置を確認する。
電磁波探査装置	地震や土砂災害などで倒壊した建物や土砂などの下敷きになっている生存者を探索する。
熱画像直視装置	赤外線カメラである。暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
夜間暗視装置	超高感度暗視スコープで暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
地震警報器	軽量かつコンパクトでどこでも使用できるもので、地震の初期微動を検知し、大きな揺れになる前にいち早く警報を発するため、隊員等の安全管理に必要である。
充電式鉄線カッター	バッテリーを電源とするため、倒壊ビル等の狭隘な現場での移動及び操作が容易である。
小型マット型空気ジャッキ	小さな隙間に挟まれた救助対象者を救出するもので、従前の重装備に比べ軽量化になっている。
携帯用コンクリート破壊器具	油圧、空圧、空気式器具の使用できない現場での削岩破壊に使用する携帯器具である。
携帯用救助器具	救助作業は徒歩による移動が多いため必要な救助器具（オノ、金テコ、ショベル他）を携帯用に軽量化したもの。
救助用支柱器具	倒壊した建物等に閉じ込められた救助対象者を救助するために柱等支えるもので、空気をういて遠隔操作で伸縮できる。

30 救助資機材

(平成30年4月1日現在)

分類	品名	分類	品名
一般救助用器具	かぎ付はし 三連はし 金属製折たたみはし ワイヤはし 空気式救助マツト銃 救命索発射銃 救助用縛帯 平担架 ロラー カ 滑	呼吸保護用器具	空気呼吸器（予備ポンベを含む。） 空気補充用ポンベ 酸素呼吸器（予備ポンベを含む。） 簡易呼吸器 防塵マスク 防送排風機
		隊員保護用器具	革手袋 耐電手袋 安防塵メガネ 携防塵マスク 防塵防熱防護服 耐放射線防護服（個人用線量計を含む。） 耐電靴 耐電ズボン 耐電長靴 防毒衣
重量物排除用器具	油圧ジャッキ 油圧スプレッダ 可搬ウインチ ワイヤーロープ マンホール救助器具 救助用簡易起重機 マット型空気ジャッキ 大型油圧スプレッダ 救助用支柱器具	水難救助用器具	潜水器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 救命ボート 救命浮標機
切断用器具	油圧切断機 エンジンカッタ ガス溶断器 チェーンソー 鉄線カッタ 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機 コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	測定用器具	可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 携帯型生物剤検知装置 携帯型化学剤検知機 化学剤検知紙
破壊用器具	万能マ ハ 携帯用コンクリート破壊器具 削岩機 ハンマドリル	その他の救助用器具	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット その他の携帯用救助工具一式 緩降機 発電機
救助用器具	登山器具一式 バスケット担架		

31 救助概況（前年との比較）

区 分		年 別		比 較 △ 減	
		平成29年	平成28年		
出 動 件 数		218	170	48	
事 故 種 別	火 災	建 物	0	2	△2
		建 物 以 外	0	0	0
	交 通		44	45	△1
	水 難		8	0	8
	自 然 災 害		0	1	△1
	機 械		3	1	2
	建 物		91	62	29
	ガス・酸欠		0	0	0
	破 裂		0	0	0
	そ の 他		72	59	13
活 動 件 数		122	91	31	
救 助 人 員		124	93	31	
1ヶ月平均出動件数		18.2	14.2	4	

32 署別救助出動状況

(平成29年中)

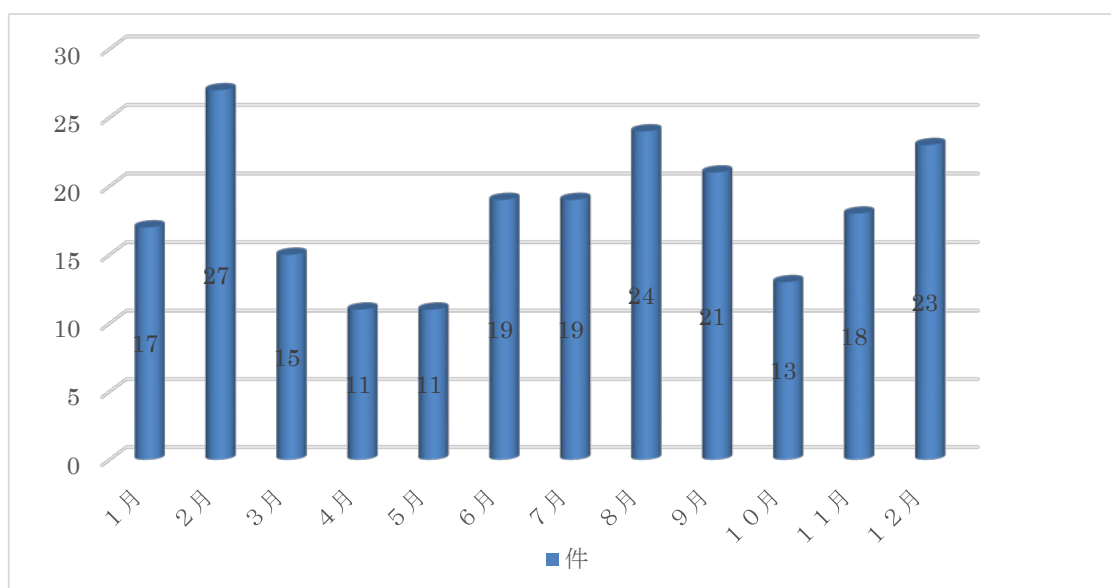
区分	事故種別	計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物	建 物 以 外								
計	出動件数	218	0	0	44	8	0	3	91	0	0	72
	活動件数	122	0	0	30	7	0	1	67	0	0	17
	救助人員	124	0	0	30	8	0	1	68	0	0	17
	活動台数	196	0	0	53	14	0	1	95	0	0	33
	活動人員	743	0	0	206	51	0	5	367	0	0	114
中央 消 防 署	出動件数	71			16	3			28			24
	活動件数	38			12	2			20			4
	救助人員	39			12	2			21			4
	活動台数	67			23	4			32			8
	活動人員	261			93	14			125			29
南 消 防 署	出動件数	60			9			2	26			23
	活動件数	35			7				22			6
	救助人員	35			7				22			6
	活動台数	47			12				26			9
	活動人員	180			46				102			32
西 消 防 署	出動件数	52			7	2		1	27			15
	活動件数	29			4	2		1	20			2
	救助人員	29			4	2		1	20			2
	活動台数	45			7	6		1	27			4
	活動人員	173			27	20		5	105			16
北 消 防 署	出動件数	21			4	2			10			5
	活動件数	11			3	2			5			1
	救助人員	12			3	3			5			1
	活動台数	19			5	2			10			2
	活動人員	69			18	9			35			7
東 消 防 署	出動件数	14			8	1						5
	活動件数	9			4	1						4
	救助人員	9			4	1						4
	活動台数	18			6	2						10
	活動人員	60			22	8						30

33 月別救助出動状況

(平成29年中)

区分 月別	出動 件 数	事故種別										活 動 件 数	救 助 人 員
		火災		交 通	水 難	自 然 災 害	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他		
		建 物	建 物 以 外										
計	218	0	0	44	8	0	3	91	0	0	72	122	124
1月	17			6			1	6			4	14	14
2月	27			4			1	14			8	14	14
3月	15			5				4			6	6	6
4月	11			3				3			5	4	4
5月	11			2	2			4			3	5	5
6月	19			6				7			6	9	9
7月	19			2	2			8			7	12	12
8月	24			5			1	9			9	15	15
9月	21			3	1			10			7	9	10
10月	13			2	1			6			4	6	6
11月	18			2	1			10			5	13	14
12月	23			4	1			10			8	15	15

月別救助出動件数



34 発生場所別救助出動状況

(平成29年中)

事故種別		計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
			建 物 以 外	建 物 以 外								
計		218 (122)	0 (0)	0 (0)	44 (30)	8 (7)	0 (0)	3 (1)	91 (67)	0 (0)	0 (0)	72 (17)
屋 内	住 居	125 (67)							86 (65)			39 (2)
	その他の屋内	9 (4)						2 (1)	4 (1)			3 (2)
屋 外	道 路	高速自動車国道	0 (0)									
		一般国道	41 (24)			34 (23)						7 (1)
	内 水 面	8 (7)				8 (7)						
	外 水 面	0 (0)										
	山 岳	3 (3)										3 (3)
	その他の屋外	23 (16)			10 (7)			1 (0)				
地 下		0 (0)										
そ の 他		9 (1)							1 (1)			8 (0)

※ () 内は活動件数

予 防 関 係



「火災予防運動街頭啓発」

35 防火対象物一覧

(平成30年4月1日現在)

用途	署所別	合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署				
			小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬	
計		10116	3902	1969	1359	574	2691	1866	825	1835	1295	540	901	901	787	462	210	115	
1	イ	9	6		6								3	3					
	ロ	347	75	28	24	23	62	46	16	90	60	30	33	33	87	44	32	11	
2	イ	1	1	1															
	ロ	24	13	9	4		9	9		1		1			1	1			
	ハ	0																	
3	ニ	11	5	3	2		3	3		1	1		2	2					
	イ	6	1	1			2	2							3			3	
ロ	267	133	81	35	17	60	48	12	38	26	12	23	23	13	4	2	7		
4		348	131	80	28	23	107	88	19	44	32	12	49	49	17	11	2	4	
5	イ	245	167	91	41	35	15	10	5	3	2	1	3	3	57	45	7	5	
	ロ	3670	1025	510	421	94	1242	786	456	901	698	203	486	486	16	12	2	2	
6	イ	(1)	13				12	10	2	1		1							
		(2)	10	2	2		2	2		1	1		5	5					
		(3)	25	10	5	3	2	10	9	1	4	3	1	1	1				
		(4)	112	37	27	8	2	17	7	10	41	29	12	13	13	4	1	2	1
	ロ	(1)	110	33	14	9	10	22	14	8	32	23	9	15	15	8	3	4	1
		(2)	1								1		1						
		(3)	0																
		(4)	11	3		2	1	2	2		4		4	1	1	1		1	
		(5)	18	5	2	1	2	6	6		1		1	3	3	3	1	2	
	ハ	(1)	67	22	7	10	5	14	11	3	22	14	8	6	6	3	2		1
		(2)	0																
		(3)	77	32	13	7	12	15	10	5	20	17	3	4	4	6	3	2	1
		(4)	9	3		2	1				3	1	2	3	3				
		(5)	91	39	13	9	17	23	16	7	12	2	10	8	8	9	2	7	
	ニ	89	22	12	7	3	28	22	6	31	23	8	5	5	3		3		
7		475	180	71	85	24	58	40	18	147	90	57	48	48	42	23	17	2	
8		39	18	10	7	1	12	2	10	7	7		2	2					
9	イ	3					2	2		1	1								
	ロ	16	12	7	2	3	1	1		1		1	1	1	1			1	

用途	署所別	合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
			小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬
10		11	4		4		1	1		4	3	1	2	2				
11		193	95	40	45	10	41	26	15	33	17	16	6	6	18	11	4	3
12	イ	583	206	89	32	85	161	145	16	9	3	6	17	17	190	132	31	27
	ロ	3	3	1	2													
13	イ	206	103	74	23	6	54	47	7	27	21	6	14	14	8	4	4	
	ロ	3													3		3	
14		469	161	60	37	64	157	141	16	10	6	4	14	14	127	84	21	22
15		920	400	180	154	66	251	190	61	107	72	35	66	66	96	54	27	15
16	イ	977	559	370	154	35	158	86	72	174	106	68	49	49	37	17	15	5
	ロ	393	198	108	61	29	114	65	49	55	37	18	16	16	10	4	4	2
16の2		0																
16の3		0																
17		261	195	57	134	4	30	19	11	9		9	3	3	24	4	18	2
18		3	3	3														
19		0																
20		0																

(平成30年4月1日現在)

用途		階数別									
		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
計		3617	1470	726	930	199	117	91	60	15	9
1	イ	3	2	1							
	ロ	19	14	1	4						
2	イ	1				1					
	ロ	10	3	2	2	3					
	ハ	0									
	ニ	4	3	1							
3	イ	1	1								
	ロ	29	15	5	4	1	2	2			
4		32	20	8	2	2					
5	イ	66	25	19	6	5	4	5		1	1
	ロ	1823	582	262	713	78	61	64	48	10	5
6	イ	(1)	9	4	3			2			
		(2)	3	2		1					
		(3)	15	2	6	5		2			
		(4)	25	22	2		1				
	ロ	(1)	47	27	13	5	1		1		
		(2)	0								
		(3)	0								
		(4)	1		1						
		(5)	3	2	1						
	ハ	(1)	10	3	4	3					
		(2)	0								
		(3)	8	7	1						
		(4)	0								
		(5)	9	7		1		1			
	ニ		3	2	1						
	7		204	127	60	9	5	1	1	1	
	8		3	2	1						
	9	イ	0								
		ロ	2	2							
10		1	1								
11		22	18	3		1					

用途		階数別									
		計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階
12	イ	64	54	7	2		1				
	ロ	2	2								
13	イ	15	10	3	2						
	ロ	0									
14		33	21	10	2						
15		301	147	80	38	26	8	1	1		
16	イ	594	231	169	90	54	28	11	6	2	3
	ロ	254	111	62	41	21	7	6	4	2	
16の2		0									
16の3		0									
17		1	1								
18		0									
19		0									
20		0									

37 消防同意処理状況

(平成29年中)

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	取扱件数	484	31	40	52	48	36	43	35	39	39	40	37
確認申請	401	23	37	46	40	31	36	28	36	33	29	27	35
許可申請	52	4	2	4	2	5	3	4	2	2	7	9	8
計画通知	31	4	1	2	6	0	4	3	1	4	4	1	1

38 過去5カ年の建築同意処理件数状況

年別 区分	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
	計	484	458	434	451
新築	440	410	382	416	394
増築	23	31	34	33	49
その他	21	17	18	2	28

39 消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況

(平成29年中)

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
計		7,718	496	643	774	668	683	747	536	524	543	747	707	650
防火・防災管理者選任届		165	11	18	15	6	12	14	15	7	17	16	19	15
防火・防災管理者解任届		12				1	1	2	1	1	4	2		
防火・防災管理者選解任届		461	20	21	31	57	56	78	27	30	35	51	27	28
統括防火・防災管理者選任届		6			1		1	1			2		1	
統括防火・防災管理者解任届		0												
統括防火・防災管理者選解任届		2			1		1							
消防計画（防火・防災）作成		448	20	32	42	44	44	62	33	31	39	41	31	29
消防計画（防火・防災）変更届		200	5	3	12	21	26	36	10	16	18	22	20	11
全体についての消防計画（防火・防災）作成届		6			2		2	1					1	
全体についての消防計画（防火・防災）変更届		3			1				1	1				
工事期間中における消防計画作成届		8	3				1		1			2	1	
自衛消防組織設置届		1						1						
自衛消防組織変更届		4			1	2	1							
自衛消防訓練通知書		3		1							1			1
消防訓練等実施計画通知届		1,577	91	132	160	119	169	159	87	95	75	166	198	126
管理権原者変更届出書		4							1				1	2
管理権原者（防災）変更届出		0												
改善（計画）報告書		12	1	2			1	1	3		1	2		1
表示マーク交付（更新）申請		16	1	1		4		2	2	2	1	1	1	1
見学通知書		8	1	2				2				2	1	
消防法令適合通知書交付申請（興行場）		0												
消防法令適合通知書交付申請（公衆浴場）		1		1										
消防法令適合通知書交付申請（旅館）		40	4	3	2	2	4	5	2	7	2	1	6	2
禁止行為の解除承認申請届		80		2	11	21	11	8	5	1	5	8	7	1
劇場等の客席特例適用申請書		0												
指定建造物工事等届		1						1						
指定建造物防災施設設置届		1				1								
核燃料物質等取扱届（新規・変更）		0												
ヒートポンプ冷暖房機設置届		4			2							1		1
ボイラー設置届		12	1	4	2			1				1	1	2
乾燥設備設置届		16	3	1		1	1		3	2	1	1	1	2
給湯沸設備設置届		25	3	1	4		2	3	5	3	1	1	2	
温風暖房機設置届		0												
炉設置届		21	13	2	1	1				1		1	2	
厨房設備設置届		1											1	
サウナ設備設置届		1							1					
蓄電池設備設置届		19	2	6	1	1		1	1	1	2		3	1
発電設備設置届		25		2	4	1	3		3	6	2		2	2
変電設備設置届		62	4	7	14	2	8	3	2	3	2	8	6	3

区 分	月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
防火対象物使用開始届		307	15	32	41	23	23	34	22	12	21	30	29	25
防火対象物点検結果報告		251	20	31	23	27	14	16	18	27	12	21	15	27
防火対象物点検報告特例認定申請書		1										1		
防災管理点検結果報告		14	1			1		1		9			2	
防災管理点検報告特例認定申請書		0												
消防用設備等設計届		191	20	13	22	15	17	14	4	14	16	19	21	16
消防用設備等設置届		587	27	54	84	37	35	49	31	52	32	63	63	60
消防用設備等着工届		403	48	39	36	32	24	30	30	26	30	43	29	36
消防用設備等点検結果報告届		2,302	159	193	208	214	187	188	193	146	179	211	187	237
消防用設備等特例申請書		15			1	2	1	1		4	2	2	2	
意見書交付申請書		1						1						
共同防災管理協議事項変更届		1						1						
地下貯蔵タンク等在庫管理等に関する計画届		0												
完成検査前水張検査（他市設置）		37	4	4	5	2	6	1	2	4	2	3	2	2
軽微な変更届		52	2	5	4	2	4	7	7	2	5	9	4	1
完成検査申請（設置）		0												
完成検査申請（変更）		28		1	2	1	2	1		4	6	2	3	6
危険物施設廃止届		6	1		1					1	1	2		
設置許可申請		6			2						1	1	2	
変更許可申請（種類・数量・倍数・位置等）		34		2	1	3	1		2	6	10	2	6	1
危険物仮貯蔵・仮取扱申請（仮取扱）届		0												
危険物施設仮使用承認申請		27		1	1	3	1		2	4	6	2	6	1
危険物施設関係者住所氏名変更届		72	5	11	12	8	17	6	3		1	3		6
危険物施設使用休止・再開届（休止）		0												
危険物職務代行者選任解任届		15	1	1	6	1		2	2	1	1			
危険物保安監督者選任解任届		48	8	8	7	2	4	8	2	1	4	2		2
譲渡引渡届		8			6						1	1		
予防規程認可申請（制定・変更）		6	1	1	1	2							1	
危険物取扱者選任解任届		0												
危険物品名・数量又は指定数量の倍数変更届		1						1						
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届		24	1	5	2	2	3	1	2	2	2	2	1	1
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届		1				1								
指定可燃物・貯蔵取扱届出書		2				2								
指定可燃物・貯蔵取扱・廃止届出書		3				1					1		1	
少量危険物・貯蔵取扱届出書		4		1				1			1			1
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書		16			2	2		3	6	2		1		
ミニローリー・貯蔵取扱届出書		7				1			5				1	
ミニローリー・貯蔵取扱廃止届出書		3							2		1			
危険物施設等災害発生届		0												

40 類別、数量別危険物施設数

(平成30年4月1日現在)

製造所等の別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所					
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般	
施設数		469	7	89	26	16	125	0	43	5	100	1	0	57	
数 量 別	5倍以下	217	1	55	8	8	57		40	2	18			28	
	5倍をこえ 10倍以下	90	1	19	8	7	29			1	7			18	
	10〃 50〃	84	2	10	6	1	36		1	2	16	1		9	
	50〃 100〃	23	1	1	4		1		2		12			2	
	100〃 150〃	7	1	2							4				
	150〃 200〃	7	1								6				
	200〃 1000〃	41		2			2				37				
類 別	単 独	第1類	2		2										
		第2類	0												
		第3類	0												
		第4類	459	6	81	26	16	125		43	5	100	1		56
		第5類	0												
	第6類	0													
	混在	8	1	6										1	

41 危険物施設数及び各種許認可処理状況

(平成29年中)

区分		計	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般
施設数 処理状況		469	7	89	26	16	125	0	43	5	100	1	0	57
計		183	20	23	3	36	8	0	5	0	69	0	0	19
各 種 許 可 届 出 状 況	設 置 許 可	5		3					1		1			
	変 更 許 可	34	7	1	1		2		1		16			6
	完 成 検 査 (設 置)	11		2			3		1		2			3
	完 成 検 査 (変 更)	26	6	1	1				1		14			3
	仮 使 用	28	7	1	1						16			3
	水 圧 検 査	0												
	水 張 検 査	35				35								
	品名・数量・ 倍数変更届	1		1										
	譲渡引渡届	2		2										
	廃 止 届	9		1		1			1		5			1
保安監督者 選解任届	32		11		1	2					15			3

42 奈良市所在の指定文化財等

(平成30年4月1日現在)

1 指定文化財 1,089件

【件数】

分類		国指定			県指定	市指定	総数	
有形文化財	建造物 ()内は棟数	国宝	重要文化財	計 ※				
		31 (35)	74 (128)	104 (163)	41 (80)	27 (32)	172 (275)	
	美術 工芸品	絵画	10	70	80	18	36	134
		彫刻	48	216	264	35	33	332
		工芸品	28	115	143	16	8	167
		書跡典籍 古文書	11	114	125	11	4	140
		考古資料	4	16	20	1	6	27
		歴史資料		6	6	4	5	15
小計		国宝 132	重要文化財 611	計 ※ 742	小計 126	小計 119	小計 987	
無形文化財		重要無形文化財						
		1			1		2	
民俗文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財						
	2			3	7	12		
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財						
		3			9	3	15	
記念物	史跡	特別史跡 2	史跡 25	計 27	5	8	40	
	名勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8			8	
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	13	25	
小計		特史名天 5	史名天 36	計 41	小計 11	小計 21	小計 73	
総数		789			150	150	1,089	

※ 有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝及び重要文化財の各件数の和と一致しないのは、1件に国宝・重要文化財の両方を含むものがあるためである。

※ 有形文化財の件数は、独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管するものを含む。

2 登録有形文化財 103件

〔	建造物	101件 [31箇所]	〕
	書跡・典籍	1件	
	歴史資料	1件	

3 選定保存技術 3件「国3件 県0件」

4 旧村指定文化財 72件「旧月ヶ瀬村指定文化財30件、旧都祁村指定文化財42件」

※国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している12件を除く。

43 火災予防広報等活動状況

(平成29年中)

区分 月別	防火訓練等		電話パトロール	広報活動	消防庁舎施設見学		防火訪問 ひとり暮らし 一般家庭
	回数	参加人員			回数	参加人員	
計	89	8,793	142	989	29	1,434	12,740
1月	14	943	16	46			995
2月	3	90	6	26			1,900
3月	5	726	54	139			1,009
4月	2	69		55			
5月	6	1,447		76	3	129	
6月	11	1,697	28	45	3	124	
7月	3	106		137	2	78	
8月	1	30		143			
9月	7	459		16	6	292	112
10月	9	1,080	8	7	10	581	2,278
11月	17	1,134	30	95	3	124	4,800
12月	11	1,012		204	2	106	1,646

44 女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状

(1) 女性防災クラブ

(平成30年4月1日現在)

番号	クラブ名	クラブ員数	結成年月日
1	鶴 舞 地 区	50	S46.11.30
2	柳 生 地 区	30	S47. 9.30
3	大 柳 生 地 区	59	S49. 7.19
4	狭 川 地 区	14	S49. 8. 6
5	精 華 地 区	25	S50. 3.16
6	鳥 見 地 区	85	H 8. 6.13
7	朱 雀 地 区	51	H 9. 2.22
8	左 京 地 区	82	H 9.11.18
9	明 治 地 区	80	H10. 3.28
10	済 美 地 区	61	H10. 8.21
11	済 美 南 地 区	90	H11. 9.23
12	鼓 阪 地 区	67	H11.11.23
13	都 跡 地 区	93	H12. 2.13
14	飛 鳥 地 区	70	H12. 4.16
15	椿 井 地 区	78	H12. 4.26
16	帯 解 地 区	94	H13. 5.20
17	都 祁 地 区	63	H18.10.22
18	東 市	93	H21. 3. 8
19	伏 見 地 区	18	H26. 3.16
20	平 城	80	H27. 3.12
21	青 山 地 区	11	H29. 3. 4
22	奈 良 帝 塚 山 地 区	28	H29. 3.11
23	富 雄 南 地 区	39	H30. 3. 4
	計	1, 361	



「女性防災クラブ防火防災研修」

(2) 幼年消防クラブ

(平成30年5月1日現在)

名 称		クラブ員数	結成年月日	所 在 地
計		214		
1	佐保山こども園	48	S62. 6.11	奈良市法蓮町 1368
2	学 園 前 学 園	27	H 4. 6.19	奈良市中山町西三丁目 535-200
3	み ず ほ 保 育 園	17	H 5. 6.30	奈良市北登美ヶ丘六丁目 28 - 10
4	あいのそのこども園	16	H10.10. 2	奈良市法蓮町 986-73
5	中 登 美 こ ど も 園	47	H10.10. 2	奈良市中登美ヶ丘一丁目 4162
6	桜 華 保 育 園	24	H22.11. 9	奈良市二名一丁目 2361 - 3
7	佐保川こども園	35	H22.11. 9	奈良市法蓮町 393



「幼年消防クラブ結成のつどい」



火災統計



「文化財防火デーに伴う消防合同訓練」

45 火災概要

平成29年中に発生いたしました火災件数は67件で前年（73件）より6件減少しました。

(1) 火災種別ごとに見ますと、建物火災32件、林野火災4件、車両火災6件、その他の火災25件となっており、前年と比較すると建物火災が10件の減少、林野火災が3件の増加、車両火災が4件の減少、その他の火災が5件の増加となっています。

出火原因別では、火入れ10件で全体の14.9%と最も多くなっています。その他の主な出火原因としては、放火（放火の疑い含む）4件（6%）、たばこ・こんろ・火あそび等各2件（各3%）となっています。

(2) 建物焼損床面積は、2,311㎡で前年（2,185㎡）に比べ126㎡増加しました。

建物焼損表面積は、211㎡で前年（549㎡）に比べ338㎡減少しました。

林野焼損面積は、90aで前年（68a）より22a増加しました。

(3) 死傷者の内、死者は4名で前年（3名）より1名増加し、負傷者は9名で前年（11名）より2名減少しました。

(4) 損害額は、441,747千円で前年（161,370千円）より280,377千円増加しました。

(5) 出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、1.9で前年（2.0）と比べ0.1ポイント減少となりました。

(6) 月別火災発生状況は、火災の多い月は5月が10件で最も多く、次いで2月の9件で、少ない月は11月の2件でした。

(7) 建物火災の発生状況については、用途別にみると専用住宅13件、共同住宅7件、併用住宅4件と住宅からの出火が建物火災全体の75%を占めています。

主な出火原因では、こんろ・たばこ・放火・配線器具が各2件（各6.3%）、ストーブ・排気管・火入れが各1件（各3.1%）となっています。

46 火災概況（前年との比較）

年 別 区 分	年 別		比 較 △減
	平 成 2 9 年	平 成 2 8 年	
出火件数	67	73	△6
建 物	32	42	△10
林 野	4	1	3
車 両	6	10	△4
そ の 他	25	20	5
焼損棟数	50	66	△16
全 焼	12	15	△3
半 焼	5	0	5
部 分 焼	13	26	△13
ぼ や	20	25	△5
建物焼損床面積（㎡）	2,311	2,185	126
建物焼損表面積（㎡）	211	549	△338
林野焼損面積（a）	90	68	22
死傷者	13	14	△1
死 者	4	3	1
負 傷 者	9	11	△2
り災世帯数	38	60	△22
全 損	12	8	4
半 損	3	0	3
小 損	23	52	△29
り災人員	83	157	△74
損害額（千円）	441,747	161,370	280,377
建 物	440,175	139,495	300,680
林 野	0	0	0
車 両	1,476	20,980	△19,504
そ の 他	96	895	△799
出火率（件） （人口1万人当たり）	1.9	2.0	△0.1

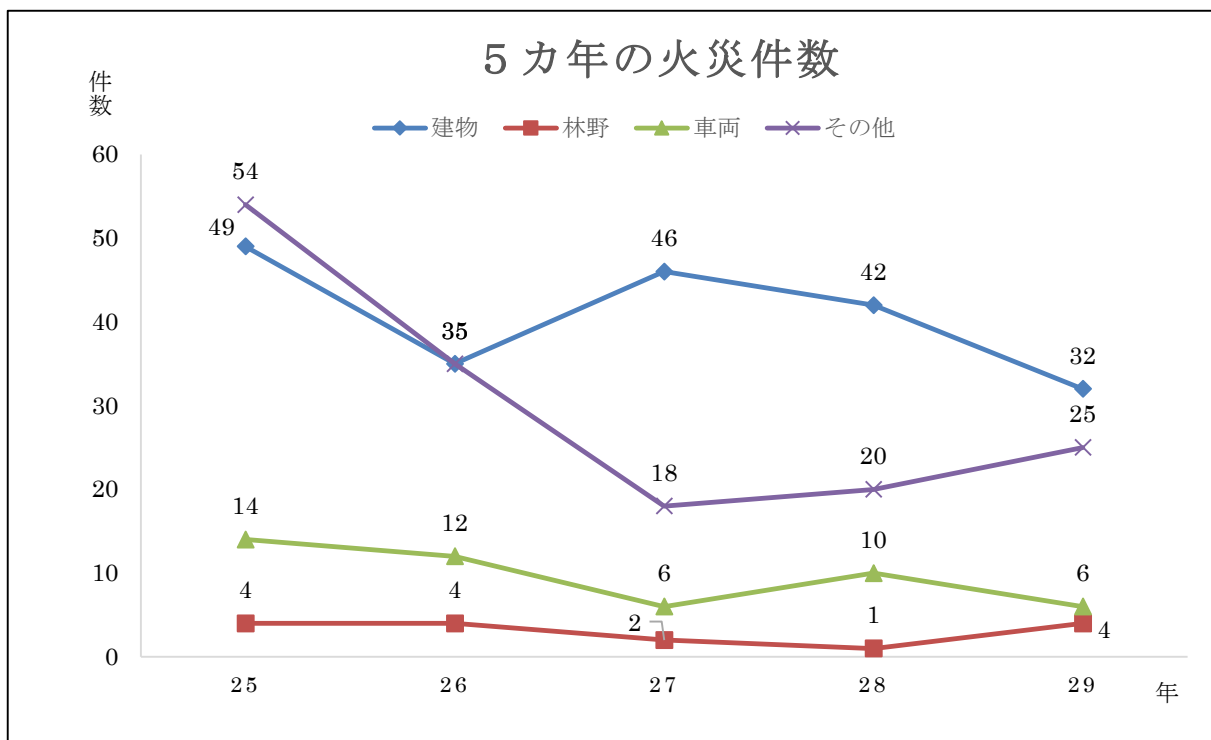
47 署別火災概況

(平成29年中)

署別 区分	計	中央署	南署	西署	北署	東署
出火件数	67	16	11	20	2	18
建物	32	9	7	9	1	6
林野	4			1		3
車両	6	3	2			1
その他	25	4	2	10	1	8
焼損棟数	50	13	8	19	1	9
全焼	12	2	2	5		3
半焼	5	1		3		1
部分焼	13	1	2	7		3
ぼや	20	9	4	4	1	2
建物焼損床面積 (㎡)	2,311	103	345	880		983
建物焼損表面積 (㎡)	211	12	109	84		6
林野焼損面積 (a)	90	37				53
死傷者	13	2	3	5		3
死者	4		1	3		
負傷者	9	2	2	2		3
り災世帯数	38	8	7	20	1	2
全損	12	2	2	8		
半損	3	1	1	1		
小損	23	5	4	11	1	2
り災人員	83	9	17	45	3	9
損害額 (千円)	441,747	5,107	8,993	392,408	6	35,233
建物	440,175	5,045	8,489	392,350	6	34,285
林野	0					
車両	1,476	62	482			932
その他	96		22	58		16

48 過去5ヵ年の火災状況

区分 年別	出火件数					焼 損 棟 数	焼 り 災 世 帯 数	焼 り 災 人 員	死傷者		焼損面積			損 害 額 (千円)
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他				死 者	負 傷 者	建 物 床 面 積 (㎡)	建 物 表 面 積 (㎡)	林 野 (a)	
29	67	32	4	6	25	50	38	83	4	9	2,311	211	90	441,747
28	73	42	1	10	20	66	60	157	3	11	2,185	549	68	161,370
27	72	46	2	6	18	60	43	98	3	7	1,247	67	1	144,961
26	86	35	4	12	35	44	31	79	3	9	1,320	137	26	102,988
25	121	49	4	14	54	62	37	105	2	6	1,662	49	39	194,220



49 校別火災状況

(平成29年中)

区分 校別	出火件数					焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	その他				建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
総計	67	32	4	6	25	50	38	83	2,311	211	90	4	9	441,747
椿井	1	1				1								30
飛鳥	0													
鼓阪	0													
済美	1	1				1								
佐保	2	2				1	1							
大宮	2	1			1	2	2	3						6
都跡	4	3		1		5	5	11	345	109		1	2	7,681
大安寺	3	1		1	1	1	1	3						1,286
東市	2				2									
平城	0													
辰市	1	1				1	1	3						4
明治	1				1								1	
帯解	5	4		1		7	4	5	103	12	37		1	5,021
精華	1			1										912
伏見	0													
富雄南	9	2	1		6	1			5					43
富雄北	1	1				1	1	1						
田原	1				1									
興東	7	1	3		3	1			1		53			19
柳生	2	2				3	1	5	55				3	1,069
あやめ池	1	1				1			57					10,691
鶴舞	3	2			1	7	7	22	552	5		2		74,137
鳥見	0													
登美ヶ丘	1	1				1	1	1						
六条	0													
青和	2	1			1	4	7	14	177	32		1	2	295,790
右京	0													
東登美ヶ丘	0													
二名	0													
西大寺北	2	1			1	1								22
富雄第三	1				1									
平城西	0													
大安寺西	0													
三碓	2	1			1	4	4	7	89	47				11,747
神功	0													
朱雀	0													
済美南	0													
鼓阪北	0													
伏見南	0													
佐保台	0													
佐保川	2	1		1		1	1	1						50
左京	2	1			1	1	1	3						6
月ヶ瀬	2	1			1	1	1	4	7					550
並松	1	1				3			517	6				29,539
都祁	4			1	3									20
吐山	0													
六郷	1	1				1			403					3,124

注) 平成29年4月1日以降、精華校区は帯解校区に、並松、吐山、六郷校区は都祁校区に統合

50 気象別火災状況

(1) 風速別

(平成29年中)

風速 (m/s) 火災種別	計	0.0 以上 1.0 未満	1.0 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満	3.0 以上 4.0 未満	4.0 以上 5.0 未満	5.0 以上 6.0 未満	6.0 以上
計	67	3	16	13	8	14	5	8
建 物	32	3	6	6	3	6	4	4
林 野	4			1	1	2		
車 両	6		4	1		1		
そ の 他	25		6	5	4	5	1	4

(2) 湿度別

(平成29年中)

湿度 (%) 火災種別	計	40 未満	40 以上 50 未満	50 以上 60 未満	60 以上 70 未満	70 以上 80 未満	80 以上 90 未満	90 以上
計	67	5	16	12	10	14	5	5
建 物	32	1	5	6	3	9	3	5
林 野	4	1	2	1				
車 両	6	1	1			3	1	
そ の 他	25	2	8	5	7	2	1	

51 覚知方法別火災状況

(平成29年中)

覚知方法別 火災種別	計	火災報知 専用電話	加入電話	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他
計	67	51	5	0	0	10	1
建 物	32	24	3			5	
林 野	4	3	1				
車 両	6	5				1	
そ の 他	25	19	1			4	1

52 曜日別火災状況

(平成29年中)

曜日別 火災種別	計	日	月	火	水	木	金	土
計	67	10	7	11	9	9	10	11
建 物	32	4	2	5	6	4	6	5
林 野	4		1	1		1		1
車 両	6	1		2	2		1	
そ の 他	25	5	4	3	1	4	3	5

53 覚知時間別火災状況

(平成29年中)

火災種別 覚知時間別	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
計	67	32	4	6	25
0時～1時	1	1			
1時～2時	1	1			
2時～3時	1	1			
3時～4時	0				
4時～5時	0				
5時～6時	0				
6時～7時	4	3			1
7時～8時	2	2			
8時～9時	1	1			
9時～10時	3	1		1	1
10時～11時	3	1			2
11時～12時	4	2			2
12時～13時	7	3			4
13時～14時	3		1		2
14時～15時	9	1	1	1	6
15時～16時	8	4	1		3
16時～17時	4	3		1	
17時～18時	4	3	1		
18時～19時	2	1		1	
19時～20時	2	1			1
20時～21時	0				
21時～22時	3	1			2
22時～23時	4	2		1	1
23時～24時	1			1	

備考 0時～1時は0時を含め1時は含まないものとし、以下同様とします。



「火災調査特別研修」

54 月別火災状況

(平成29年中)

区分 月別	出火件数					焼損件数					り災世帯数			死傷者		焼損面積			火災別損害額(千円)						
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物床(m ²)	建物表(m ²)	林野(a)	計	建物	林野	車両	その他
1月	6	2	1		3	2				2	1			1	2					50					
2月	9	5	1		3	14	6	2	4	2	13	5	2	6	29	2	1	1,082	52	1	88,572	88,572			
3月	6	5	1			10	1	1	5	3	10	4		6	26	1	3	704	38		326,119	326,119			
4月	3			1	2																				
5月	10	5		3	2	6	1		1	4	5	1		4	12			65	5	37	7,889	6,371		1,444	74
6月	6	3	1		2	4	1	1	2		2	1	1		4	1	2	131	96	2	2,711	2,711			
7月	5	3			2	5	2		1	2	1	1			4		2	267	16		5,534	5,512			22
8月	6	2		1	3	2	1			1	2			2	3			5	1		42	30		12	
9月	4	1			3	1		1										57			10,691	10,691			
10月	4	2		1	1	2				2	1			1	1				3		189	169		20	
11月	2	1			1	1				1	1			1			1								
12月	6	3			3	3				3	2			2	2										
計	67	32	4	6	25	50	12	5	13	20	38	12	3	23	83	4	9	2,311	211	90	441,747	440,175	0	1,476	96
昨年計	73	42	1	10	20	66	15	0	26	25	60	8	0	52	157	3	11	2,185	549	68	161,370	139,495	0	20,980	895
比較△減	△6	△10	3	△4	5	△16	△3	5	△13	△5	△22	4	3	△29	△74	1	△2	126	△338	22	280,377	300,680	0	△19,504	△799

55 用途別・原因別火災状況

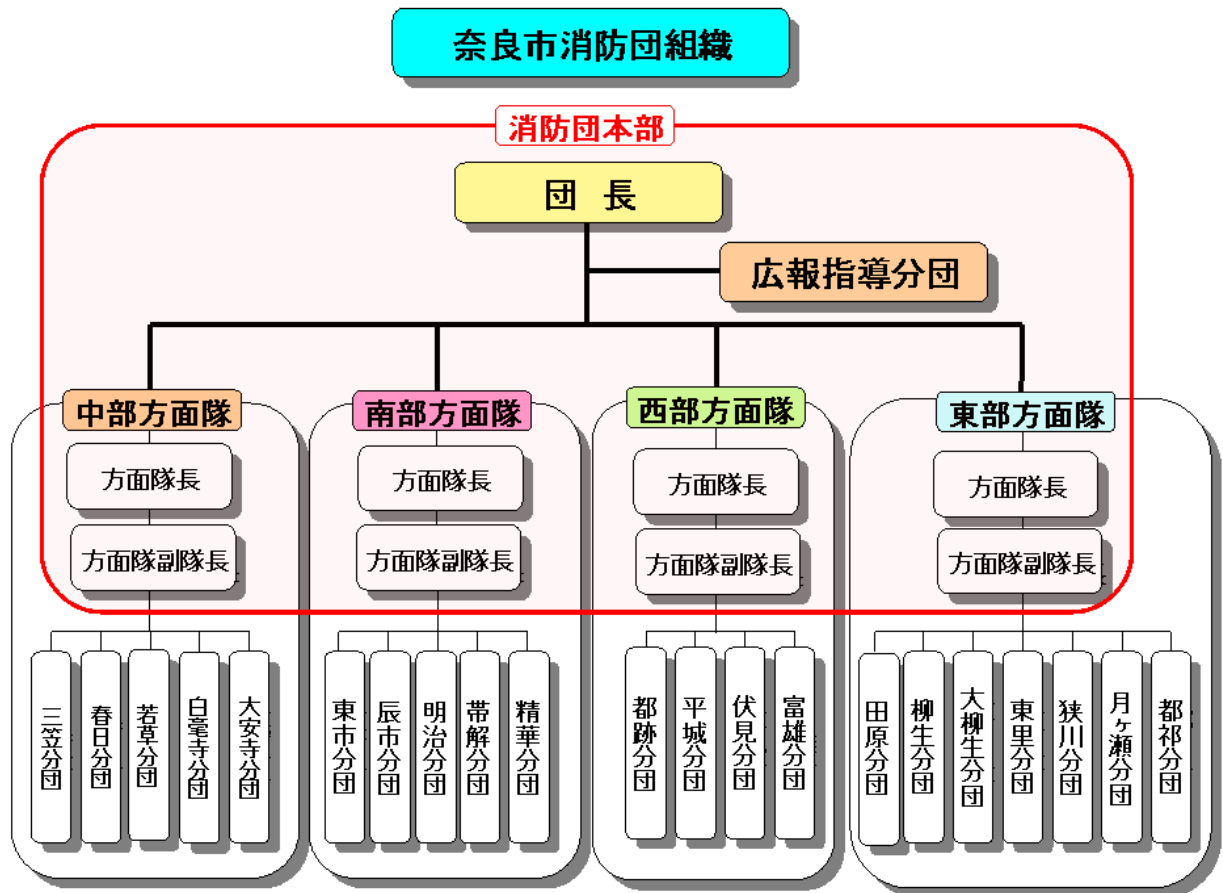
(平成29年中)

火災種別	原因別 用途別	合計	たばこ	こんど	かまど	風呂	炉	焼却	ストーブ	こたつ	ポイラ	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機	配線器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯	煙突の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中						
		合計	67	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	2	2	2	0	0	0	1	0	10	2	2	24	14				
建	小計	32	2	2					1				1					2								1	2		10	11						
	専用住宅	13	1						1									1												4	6					
	併用住宅	4																												1	3					
	共同住宅	7	1	1															1								2			2						
	劇場	0																																		
	公会堂	0																																		
	キャパレー	0																																		
	遊戯場	0																																		
	料理店	0																																		
	飲食店	1												1																						
	物品販売店舗	0																																		
	旅館	0																																		
	病院	0																																		
	社会福祉施設	0																																		
	幼稚園	0																																		
	学校	0																																		
	図書館	0																																		
	特殊浴場	0																																		
	公衆浴場	0																																		
	停車場	0																																		
	神社・寺院	0																																		
	工場	1																																1		
	スタジオ	0																																		
駐車場	0																																			
航空機格納庫	0																																			
倉庫	2																																	2		
事務所	0																																			
複合用途特定	2		1																														1			
複合用途非特定	0																																			
地下街	0																																			
準地下街	0																																			
文化財	0																																			
その他	2																										1						1			
林	4																			1							2					1				
車両	6												1											1								3	1			
その他	25															1			1	2							7		2	10	2					

消 防 団 関 係

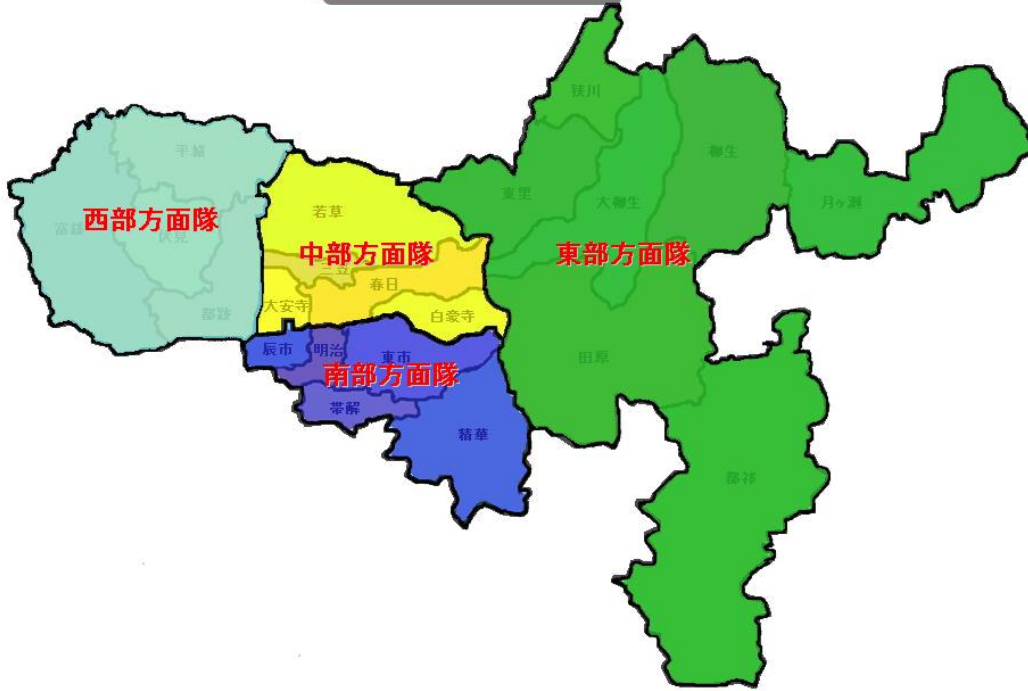


「奈良県消防操法大会訓練始め式」

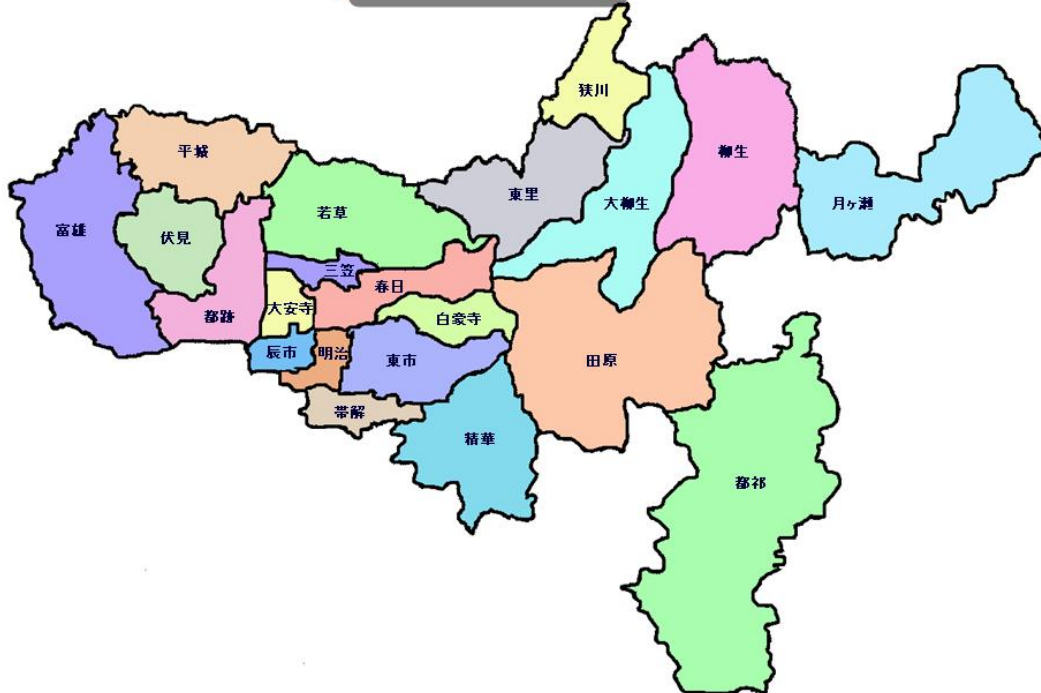


「奈良市消防出初式放水演習」

方面隊別管轄図



分団別管轄図



57 消防団員の階級別定員数

消防団員の配置編成

(単位 人)

区 分	団長	方面 隊長	方面隊 副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
消防団本部	1	4	8						13
広報指導分団				1	1	2	2	34	40
中部 方面隊	三笠分団			1	1	2	3	13	20
	春日分団			1	1	2	3	13	20
	若草分団			1	1	2	3	20	27
	白毫寺分団			1	1		1	7	10
	大安寺分団			1	1	2	3	18	25
南部 方面隊	東市分団			1	1	2	3	23	30
	辰市分団			1	1	2	3	23	30
	明治分団			1	1	2	3	23	30
	帯解分団			1	1	2	3	23	30
	精華分団			1	1	2	3	33	40
西部 方面隊	都跡分団			1	1	3	5	20	30
	平城分団			1	1	2	3	23	30
	伏見分団			1	1	2	3	23	30
	富雄分団			1	2	5	6	46	60
東部 方面隊	田原分団			1	2	5	5	88	101
	柳生分団			1	2	6	6	66	81
	大柳生分団			1	2	5	5	54	67
	東里分団			1	1	2	2	36	42
	狭川分団			1	1	2	2	31	37
	月ヶ瀬分団			1	2	5	5	56	69
	都祁分団			1	3	11	11	112	138
計	1	4	8	22	29	68	83	785	1000

58 消防団員の新任状況

(平成30年4月1日現在)

階 級	新 任 団員数	新 任 団 員 数 の う ち								新任団員 数のうち 41歳以上 の再入団 員数
		21歳未満	21歳以上	26歳以上	31歳以上	36歳以上	41歳以上	46歳以上	51歳以上	
			25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下		
団 員	60	1	8	2	7	14	11	13	4	9
班 長										
部 長										
副分団長										
分 団 長										
副 団 長										
団 長										
合 計	60	1	8	2	7	14	11	13	4	9

59 消防団員の退職状況

(平成30年3月31日現在)

階 級	退 職 消 防 団 員 数	退 職 消 防 団 員 数 の う ち						
		在 職 年 数						
		5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
			10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
団 員	31	5	11	5	6	3		1
班 長	3			3				
部 長	15		1	9	4	1		
副分団長	2			1		1		
分 団 長	6		1		2	1		2
副 団 長	1					1		
団 長								
合 計	58	5	13	18	12	7	0	3

退 職 事 由								
自己都合	定年など	傷 病			死 亡			整理統合
		公 務	そ の 他	公 務	そ の 他			
58	—	—			—			—

60 在職年数別消防団員数

(平成30年4月1日現在)

	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合計	978	249	269	239	137	59	18	7

61 消防団員の職業状況

(平成30年4月1日現在)

職 業 構 成																			
農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	電 気 ・ ガ ス 熱 供 給 ・	運 輸 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業	飲 食 店	金 融	保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公務(他に分類されな いもの)				そ の 他
															国家公務員	地方公務員	員に準ずる職員	特殊法人等公務員	
52	3		2	132	162	44	65	109	32	11	184		64	30	4	84			



「安全管理研修」

62 消防団員の表彰状況

(平成29年度中)

表彰別	階級別							合計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
消防庁長官表彰								0
奈良市長表彰					3	6	24	33
県消防協会長表彰				3	6	4	2	15
県知事表彰			1	3	3		3	10
奈良市功労者表彰			4		6	2		12
奈良市有功者表彰			3	2				5
日本消防協会精績章								0
日本消防協会勤続章			2					2
日本消防協会功績章								0
消防団長表彰					1	3	32	36
合計	0	0	10	8	19	15	61	113



「奈良市消防出初式式典」

63 消防団員の出動状況

(平成29年度中)

計 (人員)	出 動 別				
	水火災出動	警戒出動	訓練出動	機械器具 点検出動	その他 出 動
	430	669	1739	2748	4188

64 消防団機械器具等配備状況

(平成30年4月1日現在)

区分 分団別		計	防災 活動車	救助 資器材 搭載型 車両	消防 ポンプ 自動車	小型 動力 ポンプ	積載車	機 械 器 具		
								簡易デ ジタル 無線機	背負式 消火水 のう	布水槽
計		477	1	1	1	108	96	209	178	92
消防団本部		3	1	1		1		13		
中部 方面 隊	三笠	4				2	1	6		1
	春日	6				4	2	7		
	若草	3				1	1	6		1
	白毫寺	3				1	1	4		1
	大安寺	6				2	2	6		2
南部 方面 隊	東市	20				9	9	10		2
	辰市	9				4	2	6		3
	明治	14				6	6	5		2
	帯解	19				7	7	7		5
	精華	21				4	4	6	9	4
西部 方面 隊	都跡	3				1	1	6		1
	平城	14				3	3	8	5	3
	伏見	3				1	1	6		1
	富雄	12				4	4	12		4
東部 方面 隊	田原	74			1	15	13	16	29	16
	柳生	45				6	6	15	24	9
	大柳生	45				7	6	15	25	7
	東里	47				9	6	14	23	9
	狭川	31				3	3	10	22	3
	月ヶ瀬	37				7	7	13	16	7
	都祁	58				11	11	18	25	11

65 消防団員の報酬、費用弁償

階 級	職 名	報酬年額 (円)
団 長	団 長	350,000
副 団 長	方 面 隊 長	270,000
分 団 長	方面隊副隊長	160,000
	分 団 長	145,000
副分団長	副 分 団 長	88,000
部 長	部 長	65,000
班 長	班 長	55,000
団 員	団 員	50,000

出 動 種 別	1回あたりの費用弁償額 (円)
水 火 災	4,000
警 戒	3,000
訓 練	2,500
機械器具点検	2,000
そ の 他	2,000

※ 1 回の出動時間が引き続き 4 時間を超えるときは、4 時間に達するごとに 1 回とする



「車両救出訓練」

表紙写真提供：奈良市観光協会

裏表紙イラスト：中谷 有香さん

中谷 有香（なかに ゆか）さんプロフィール

奈良市在住。紙芝居作家。

奈良を中心に創作紙芝居や奈良市の昔話を人々に伝える活動をしている。

「**住宅用火災警報器**」の設置は消防法の改正により義務化されています。

～ **住警器！ 設置のつぎは 維持・管理** ～



リニア新駅を奈良市に
りにまね

奈良市八条五丁目404-1

奈良市消防局 総務課

TEL 0742-35-1199

FAX 0742-33-8436

E-mail shoubou-soumu@city.nara.lg.jp